

# 神戸電鉄栗生線 地域公共交通総合連携計画

2010年3月

神戸市・三木市・小野市

# 目次

1. はじめに	1
1-1 計画策定の目的	1
1-2 計画対象区域	1
1-3 計画対象期間	2
1-4 計画の構成	2
2. 神戸電鉄粟生線および沿線地域の現状	3
2-1 神戸電鉄粟生線沿線地域の概況	3
2-2 神戸電鉄粟生線の現状	8
2-3 沿線ニーズ等の把握	11
3. 神戸電鉄粟生線の活性化に向けた課題	27
3-1 他の交通機関との競合	27
3-2 狭い駅勢圏（駅の集客範囲）	27
3-3 定期利用の減少と少ない域外からの流入	27
3-4 過度に自動車に依存した交通行動	28
3-5 利用者動向・ニーズに対応した施設への改良・更新	28
3-6 沿線住民との協力体制の構築	28
4. 神戸電鉄粟生線活性化の方向性	29
4-1 基本方針	29
4-2 計画目標	30
4-3 取り組むべき施策	33
4-4 事業の実行主体とスケジュール	56
4-5 推進体制	60

# 1. はじめに

## 1-1 計画策定の目的

神戸電鉄粟生線地域公共交通総合連携計画は、神戸電鉄粟生線が抱える課題の解決に向けて、関係者（神戸市、三木市、小野市、神戸電鉄株式会社、住民、国、兵庫県等）が一体となって、それぞれの立場で役割を担い、沿線地域の実状・実態に即した路線維持・活性化方策を講じるための計画書である。

本計画書において示す方針、目標、事業内容を関係者が相互に理解し共通認識を持ち、関係者間の協力と連携により総合的・一体的に事業を実施していくことで、粟生線および沿線地域の活性化を目指していく。

※「神戸電鉄粟生線活性化協議会」は、神戸電鉄粟生線の利用促進などを検討するため、神戸市、三木市、小野市、神戸電鉄、沿線利用者、学識者、国土交通省近畿運輸局、兵庫県で構成される。

## 1-2 計画対象区域

本計画における対象区域は、神戸市、三木市、小野市の粟生線沿線の3市とする。



図 1-1 計画対象区域図

### 1-3 計画対象期間

本計画の対象期間は、平成22年度から平成24年度までの3か年とする。  
(将来にわたり栗生線の維持・活性化を図っていくための検証期間との位置づけ)

### 1-4 計画の構成

本計画の構成を次に示す。

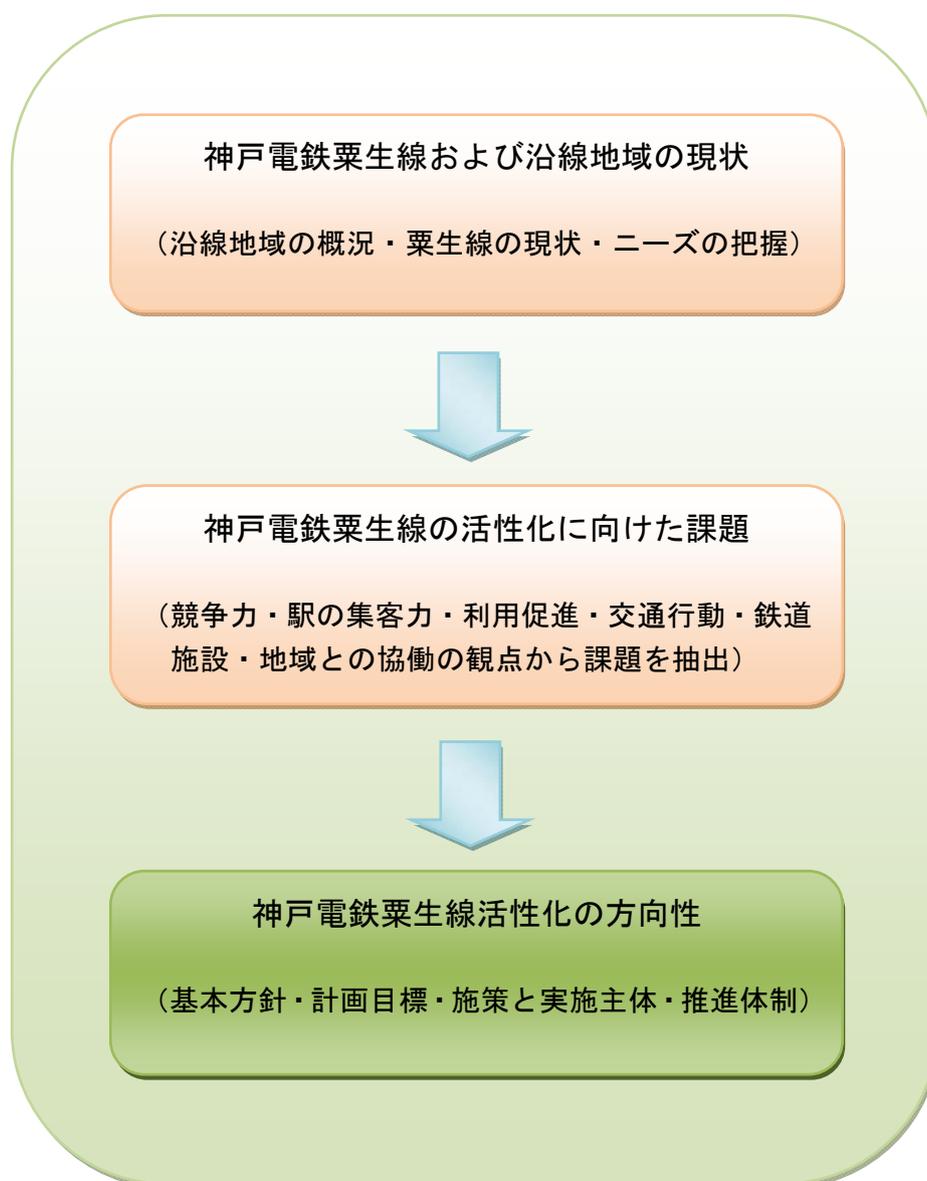


図 1-2 計画の構成

## 2. 神戸電鉄粟生線および沿線地域の現状

### 2-1 神戸電鉄粟生線沿線地域の概況

神戸電鉄粟生線は、兵庫県内の神戸市、三木市、小野市の3市にまたがる鈴蘭台駅～粟生駅間 29.2km の路線であり、神戸市内から北播磨地域への開発動脈として昭和11年から敷設が開始され、同年に鈴蘭台駅～広野ゴルフ場前駅間が営業開始したのを皮切りに、順次、路線を延長し、昭和27年より全線営業を開始している。

また、粟生駅では JR 西日本・加古川線と北条鉄道に接続し、加古川市内や丹波地域などと繋ぐネットワークを形成している。

昭和40年代後半から昭和50年代において、神戸市西区から三木市南東部でニュータウンが次々と開発され、それらの地域と神戸市中心部を結ぶ通勤・通学輸送が主体となり、本地域の中心的な公共交通機関としての役割を担っている。

しかしながら、沿線地域の土地利用が住居系が中心であることから少子高齢化の影響を直接的に受けるとともに、マイカーの普及や沿線道路網等の整備により、近年、車利用を前提とした開発が進められてきたことから、年間輸送人員は平成4年度の1,420万人をピークとしてその後減少（震災後の平成8年度を除く）が続いており、平成20年度には約半分の729万人にまで減少した。

#### (粟生線沿線人口の減少、高齢化の進展)

- ・沿線地域の総人口は、概ね平成7年まで増加傾向にあったものの、平成12年から微減傾向にあり、今後はさらに人口の減少が始まる。

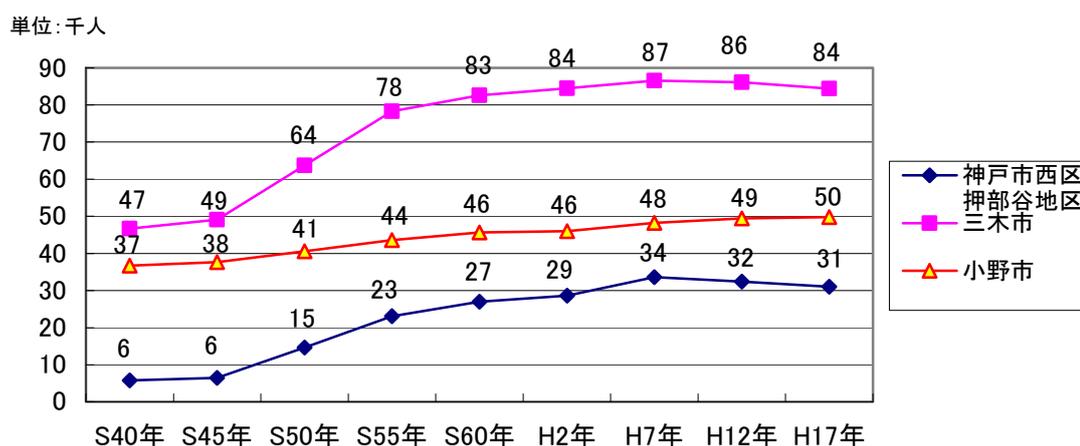


図 2-1 沿線人口の推移 (参照: 国勢調査)

※神戸市西区押部谷地区: 秋葉台、押部谷町、北山台、桜が丘、高雄台、月が丘、富士見が丘、美穂が丘

三木市は旧吉川町の人口を含む

- ・神戸市西区押部谷地区では、15歳未満の年少人口が減少、65歳以上の人口が増加傾向にあり、少子高齢化が進展している。

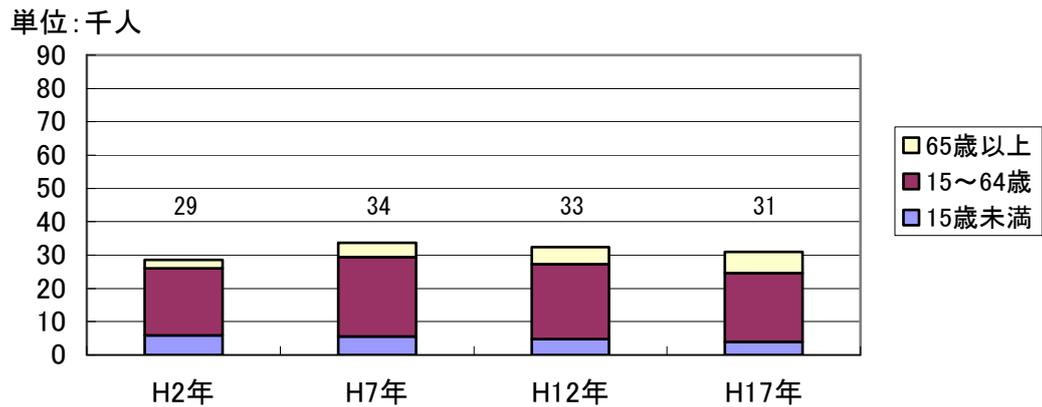


図 2-2 神戸市西区押部谷地区年齢層別人口 (参照: 国勢調査)

- ・三木市でも、15歳未満の年少人口が減少、65歳以上の人口が増加傾向にあり、少子高齢化が進展している。

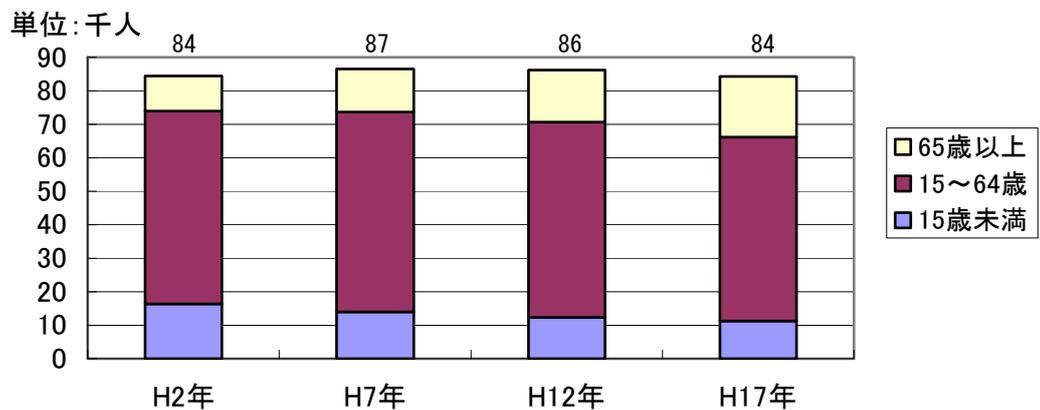


図 2-3 三木市年齢層別人口 (参照: 国勢調査)

- ・小野市では、人口が微増傾向にあったものの、人口構成としては神戸市西区押部谷地区、三木市と同様に、15歳未満の年少人口が減少、65歳以上の人口が増加傾向にあり、少子高齢化が進展している。

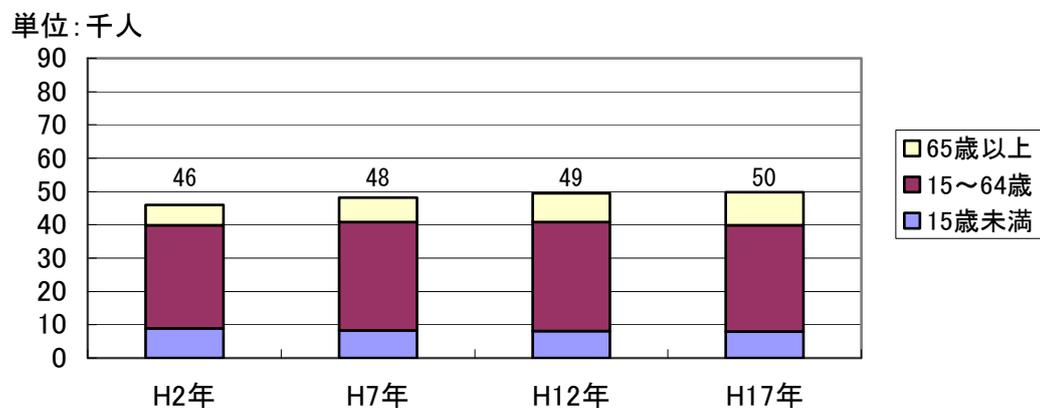


図 2-4 小野市年齢層別人口 (参照: 国勢調査)

(粟生線をとりまく交通実態)

- ・沿線地域内から出発する交通量の大半は地域内を目的地としている。

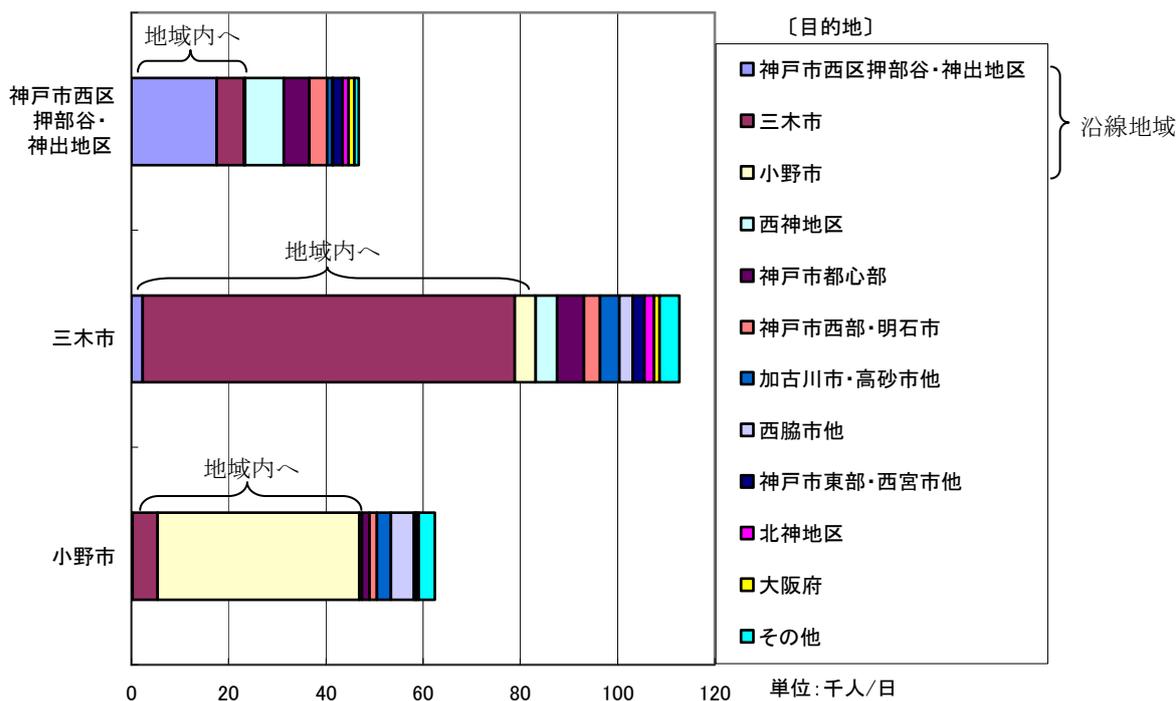


図 2-5 発生交通量と目的地 (参照:京阪神都市圏パーソントリップ調査 (2000年))

※神戸市西区で設定されたパーソントリップゾーンの関係から、沿線地域の対象となる区域が押部谷・神出地区となる。

- ・沿線地域内を目的地としている交通量の大半は地域内から出発している。

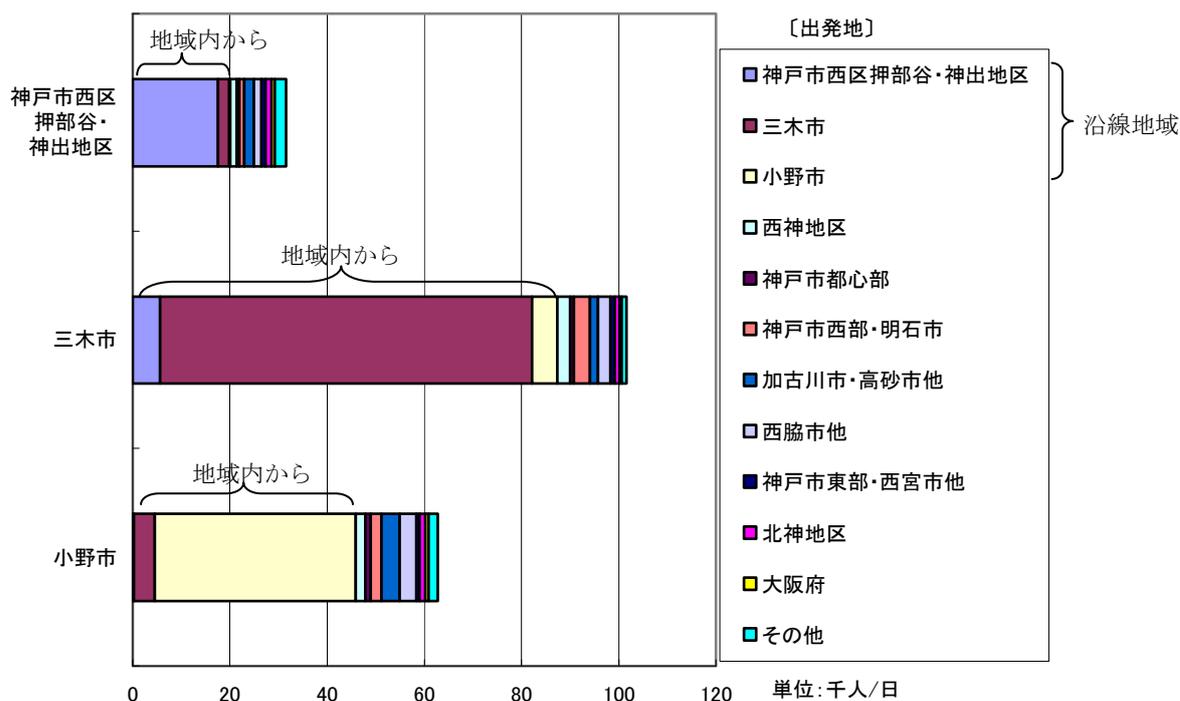


図 2-6 集中交通量と出発地 (参照:京阪神都市圏パーソントリップ調査 (2000年))

- 沿線地域内で発生する交通手段では、鉄道利用を見ると神戸市西区（押部谷・神出地区）が18%、三木市は8%、小野市が4%という結果であり、自動車利用の割合が高い。

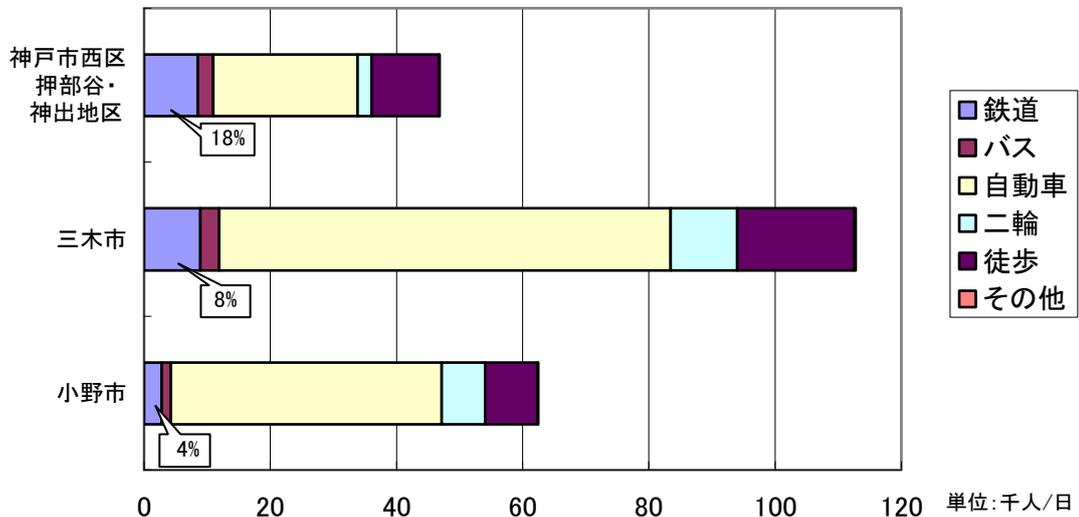


図 2-7 発生交通量の交通手段分担 (参照：京阪神都市圏パーソントリップ調査 (2000 年))

- 地域外から流入する交通量は、地域内で発生する交通量の約 20%であり、地域外から流入する交通の代表交通手段は、自動車利用が 86%となっており、発生交通量に比べ自動車への依存度が高い。

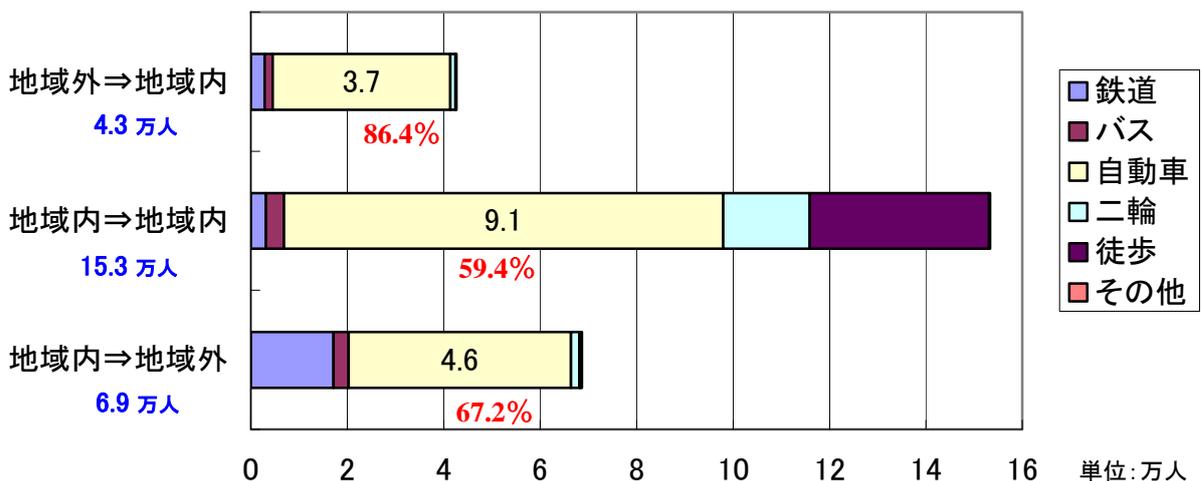


図 2-8 地域内交通量および地域内外交通量の比較  
(参照：京阪神都市圏パーソントリップ調査 (2000 年))

- ・沿線地域内での自動車保有台数は、直近 10 年間で神戸市西区は 14.5%、三木市で 16.4%、小野市で 12.8%増加している。

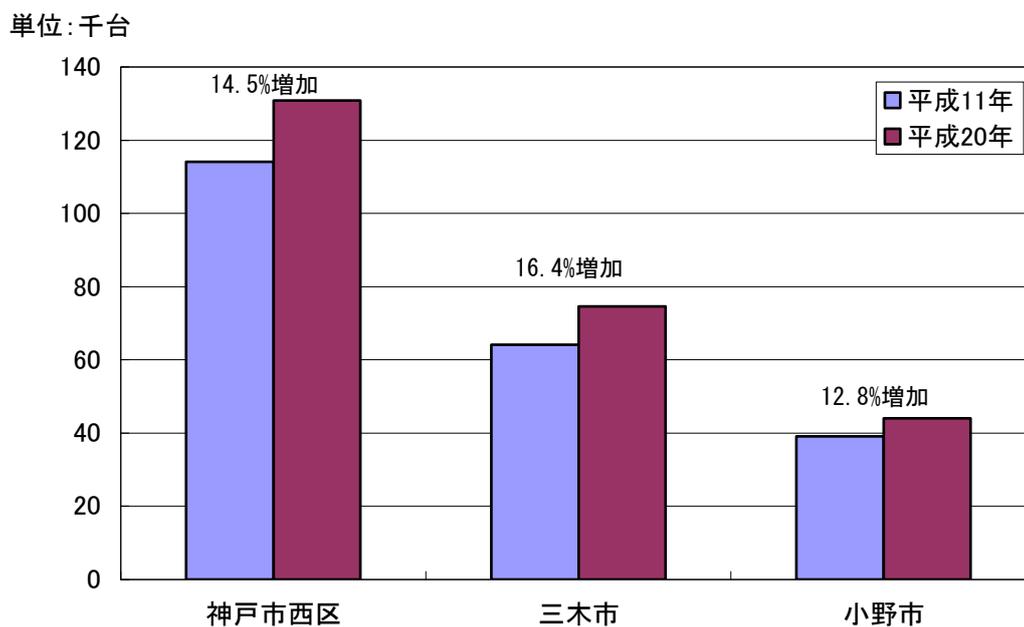


図 2-9 自動車保有台数の変化 (出典: 神戸市、三木市、小野市統計書)

※神戸市西区の台数は、神戸市統計書による西区全体の数値である。

## 2-2 神戸電鉄粟生線の現状

### (粟生線の輸送人員の減少)

- ・ 粟生線の輸送人員は平成 4 年度をピークに大きく減少しており、平成 20 年度は平成 4 年度の約半数になっている。

単位: 万人/年

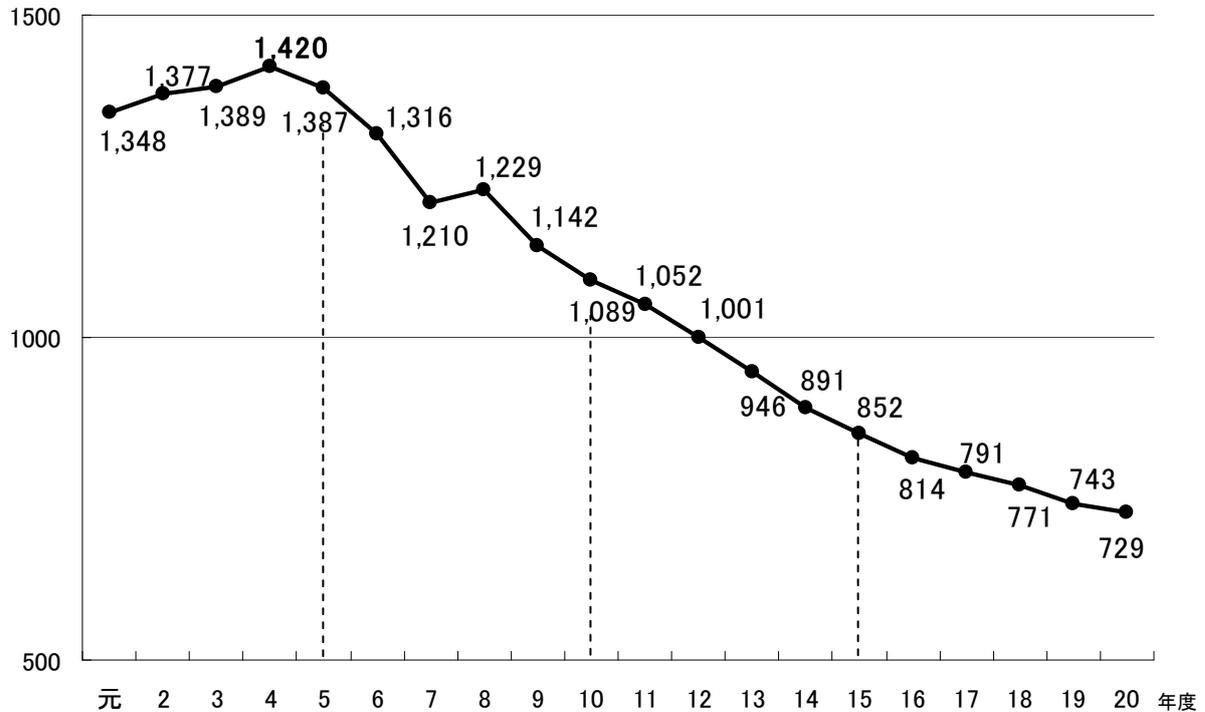


図 2-10 神戸電鉄粟生線の輸送人員の推移 (参照: 神戸電鉄資料)

- ・ 券種別の輸送人員は、直近 10 年間に於いて定期で 33%、定期以外で 26%、合計では 31%の減少となっている。
- ・ 定期以外に比べて日常的な定期利用の輸送人員の減少が大きい。

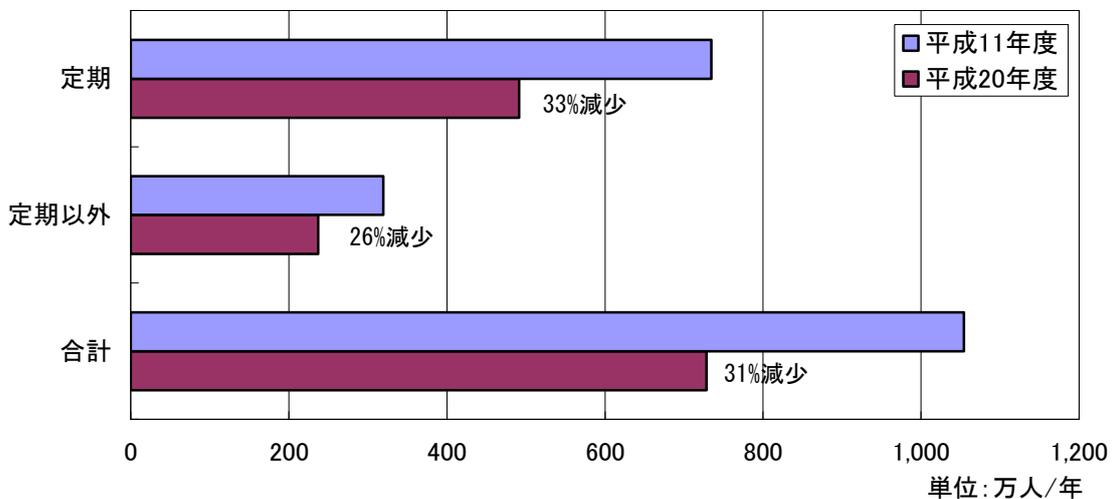


図 2-11 神戸電鉄粟生線の券種別利用状況の推移 (参照: 神戸電鉄資料)

- ・直近 10 年間で乗降人員は木津駅以外で減少している。特に志染駅は約 45%と大きく減少している。

単位:千人/日

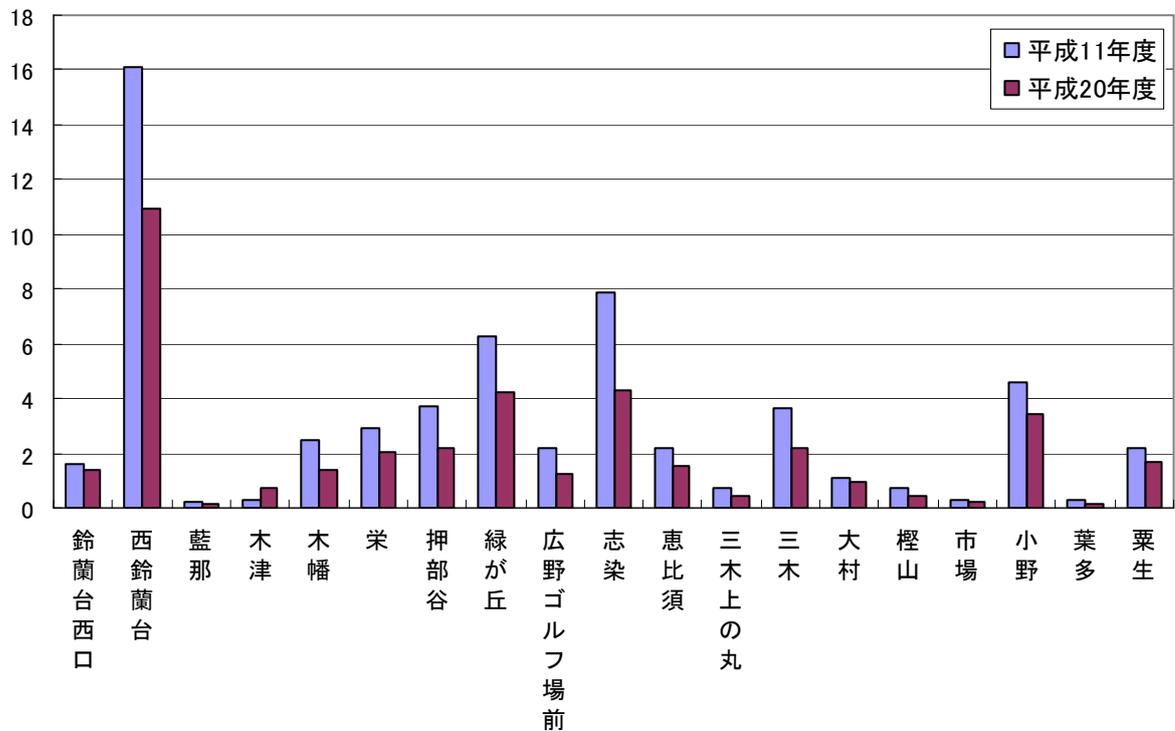


図 2-12 駅別乗降人員の推移 (参照: 神戸電鉄資料)

(粟生線の収支状況)

- ・粟生線は平成 13 年度以降、年間 10 億円以上の赤字を計上している。

単位:億円

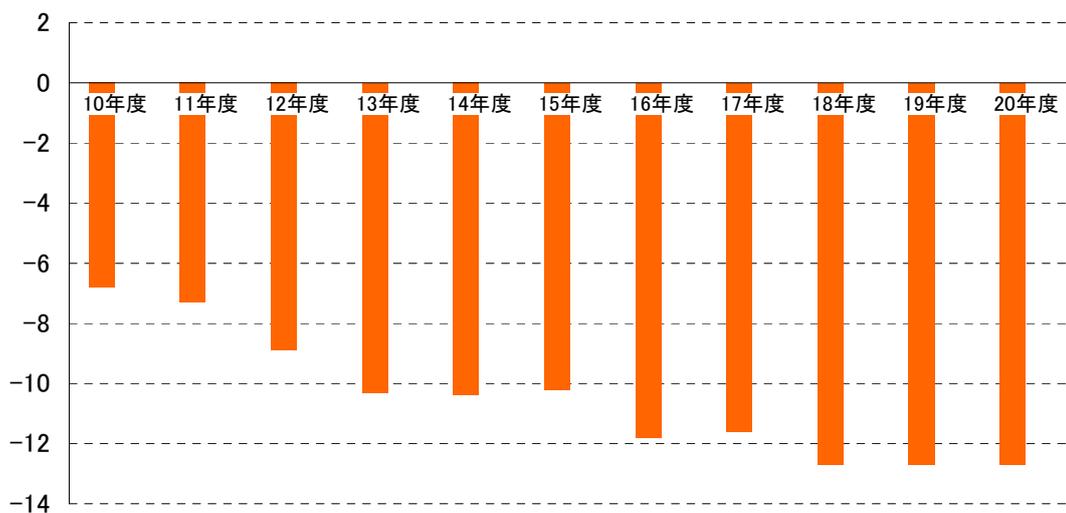


図 2-13 神戸電鉄粟生線の収支の推移 (参照: 神戸電鉄資料)

(粟生線の駅周辺施設)

- ・粟生線各駅における駅前広場、駐車場、駐輪場等の施設整備状況を次に示す。

表 2-1 神戸電鉄粟生線各駅の施設整備状況 (参照：神戸電鉄資料)

市域	駅名	駅前広場	P&R 駐車場	駐輪場	バス アクセス	タクシー 乗場	売店	駅務員	駅舎 年度
神戸市	鈴蘭台西口	—	—	—	—	—	—	—	S48
	西鈴蘭台	—	○(*)	○	○	○	○	○	S45
	藍那	—	—	—	—	—	—	—	S57
	木津	○	—	○	—	—	—	—	H11
	木幡	—	○	○	○	○	—	—	S54
	栄	—	—	○	○	—	—	—	S54
	押部谷	—	○(*)	○	○	○	—	—	S54
三木市	緑が丘	○	○	○	○	○	○	○	S50
	広野ゴルフ場前	—	○(*)	○	○(*)	—	—	—	S59
	志染	○	○	○	○	○	—	○	S55
	恵比須	○	○(*)	○	○	○	—	—	H15
	三木上の丸	—	—	○	○	—	—	—	S12
	三木	—	○	○	○	○	—	—	S13
	大村	—	—	○	○(*)	—	—	—	S26
小野市	檜山	○	○	○	○	—	—	—	H20
	市場	—	○	○	○	—	—	—	H11
	小野	○	○(*)	○	○	○	○	○	H03
	葉多	—	—	○	—	—	—	—	H11
	粟生	○	○	○	○(*)	○	—	—	H11

※P&R、駐車場：○は一般駐車場、○(\*)はP&Rの駐車場を表す。

※バスアクセス：○は路線バス、○(\*)はコミュニティバスを表す。

## 2-3 沿線ニーズ等の把握

### (1) 沿線住民の粟生線に対するニーズ

#### ① 沿線住民アンケート調査概要

粟生線沿線の住民アンケートは過年度に以下のものが実施されている。

- 実施主体 : 国土交通省近畿運輸局
- 調査対象者 : 神戸市西区(押部谷・神出地区)、三木市、小野市の15歳以上の住民
- 調査票配布数 : 4,448通
- 実施時期 : 平成20年1月～2月
- 調査票回収数 : 1,912通(回収率43%)

#### ② 神戸電鉄に対する満足度

- ・ 神戸電鉄に対する満足度は、利用頻度別に次に示す結果であった。

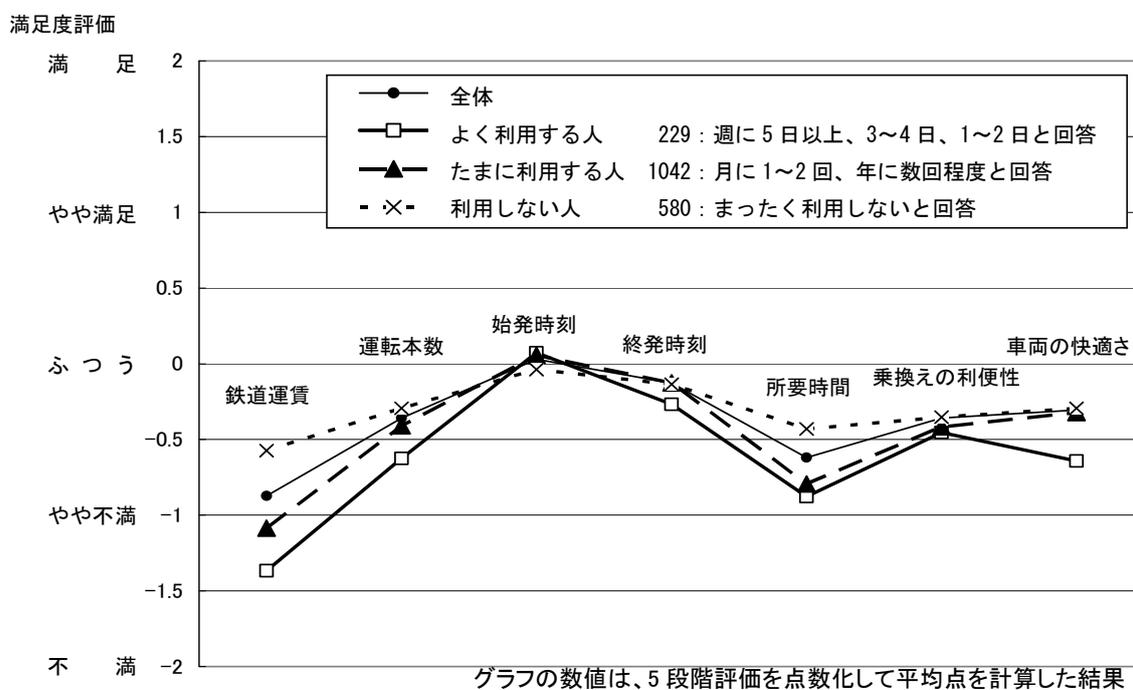


図 2-14 神戸電鉄の利用頻度と満足度 (N=1912)

### ③ 神戸電鉄の必要性

- 神戸電鉄の必要性に対しては、68%の人が必要だと回答している。さらに、家族や地域の様々な年齢層の人々にとっては、85%の人が必要だと回答している。

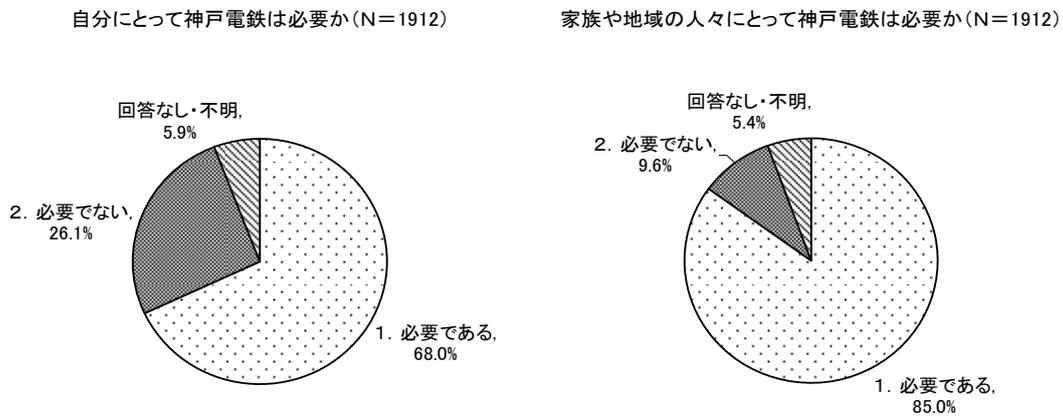


図 2-15 神戸電鉄の必要性に対する意識

### ④ 粟生線を維持していくための方策

- 粟生線を維持していくための方策に対する回答は次に示す結果であった。

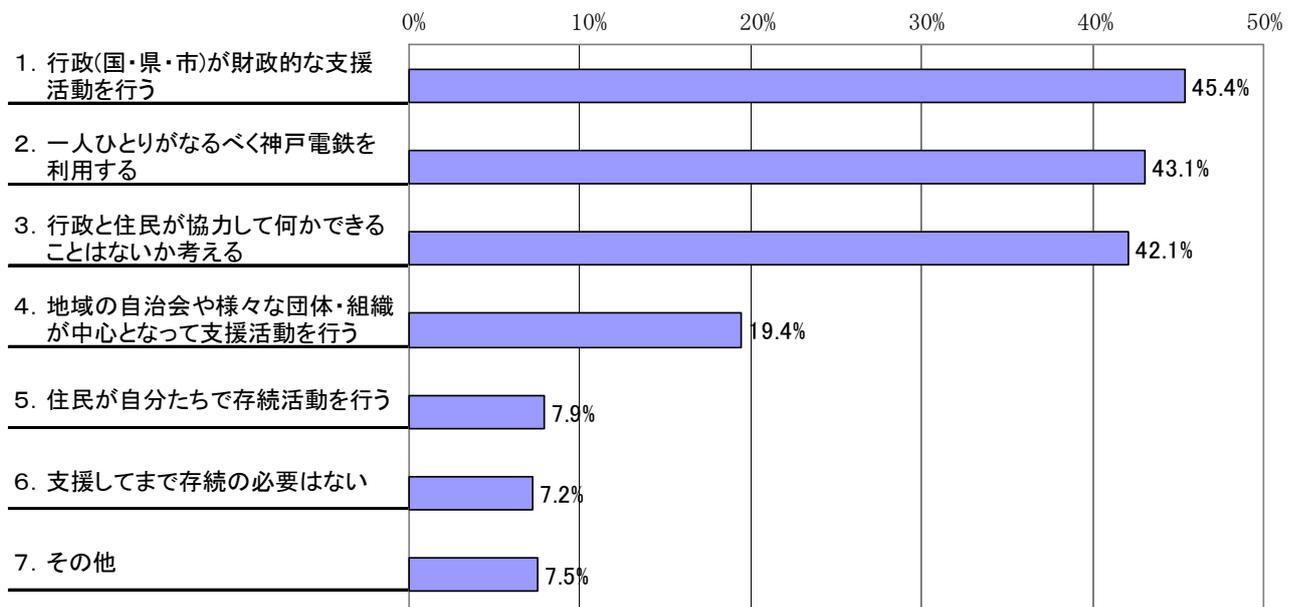


図 2-16 神戸電鉄粟生線を維持していくための方策に対する意識  
(N=1912 複数回答)

## (2) 一般利用者等アンケート調査

連携計画策定にあたり、粟生線の利用状況やニーズを把握するためのアンケート調査を以下の内容で実施した。

表 2-2 アンケートの実施概要

	(1) 一般利用者	(2) 高校生	(3) 観光旅行者	(4) 小中学校 (神戸市・小野市は小学校のみ)
目的	一般利用者の利用実態や改善ニーズの把握	通学利用実態や改善ニーズの把握	粟生線への観光目的での利用実態やニーズの把握	野外学習での交通機関利用実態や粟生線利用への誘導可能性の把握
対象	各市域の駅を1駅ずつ選定 (押部谷、志染、小野) 列車内でも調査票配布 (緑が丘～栄) ※高校生以下は除く	沿線高校生 (三木北、三木東、三木、小野、小野工1年生：約200～300人×5校)	粟生線周辺の市・町在住のWEB調査モニター (神戸市、三木市、小野市、三田市、明石市、加古川市、加西市、加東市、西脇市、稲美町、播磨町)	各市域小中学校の担当教員 (小学校：神戸市166校、三木市16校、小野市9校) (中学校：三木市8校)
	1500名	約1300名	753名	199校
調査方法	駅・列車にて配布、一定期間内に駅にて回収 (回収箱設置)	各学校を通して留置き調査	WEBによる調査	各学校へ留置き調査
配布	1/20 駅配布(7～9時、小野は6時半～8時半) 列車配布(10～13時)	1/18 各校へ自治体から説明	1/20 WEBサイトにアップ	1/7～1/19 各校へ自治体から説明(校長会で依頼)
回収期限	～1/27 駅にて回収	1/22 各校にてとりまとめて回収	1/26 回答受付締切(一定サンプル数で打ち切り)	～1/26 各校から返送
回収数	759 回収率51%	1177	753	小学校174 中学校8

## 1) 一般利用者アンケート

### ① 一般利用者アンケート調査概要

- 実施主体 : 神戸電鉄粟生線活性化協議会
- 調査対象者 : 押部谷駅、志染駅、小野駅の3駅利用者と緑が丘～栄間の列車内
- 調査票配布数 : 1,500名
- 実施時期 : 平成22年1月～2月
- 調査票回収数 : 759名(回収率51%)

### ② アンケート回答者の属性

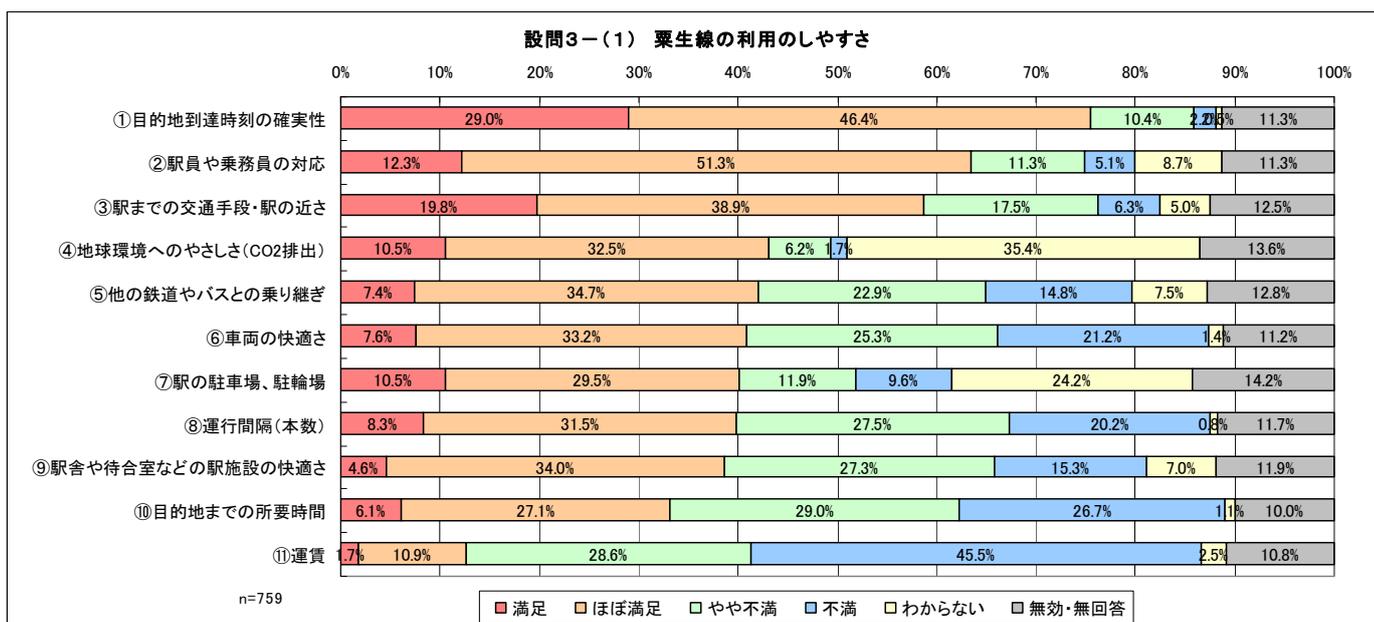
- ・ 年齢は各年齢層ともシェアは概ね同じで、職業は会社員・公務員が56%。
- ・ 最寄り鉄道駅は、志染駅が39%、押部谷駅が17%と多く2駅で過半数を占める。
- ・ 自動車免許は78%が保有しており、家族での利用も含め84%が自家用車を保有。

### ③ 粟生線利用の目的と頻度

- ・ 粟生線の普段の利用目的は、通勤が最も多く45%、次いで買物、趣味・レジャーとなっている。買物や趣味・レジャーは月1～2回程度の利用が多い。
- ・ また、業務や通院等での利用は上記の目的よりも少なく、その頻度も少ない。

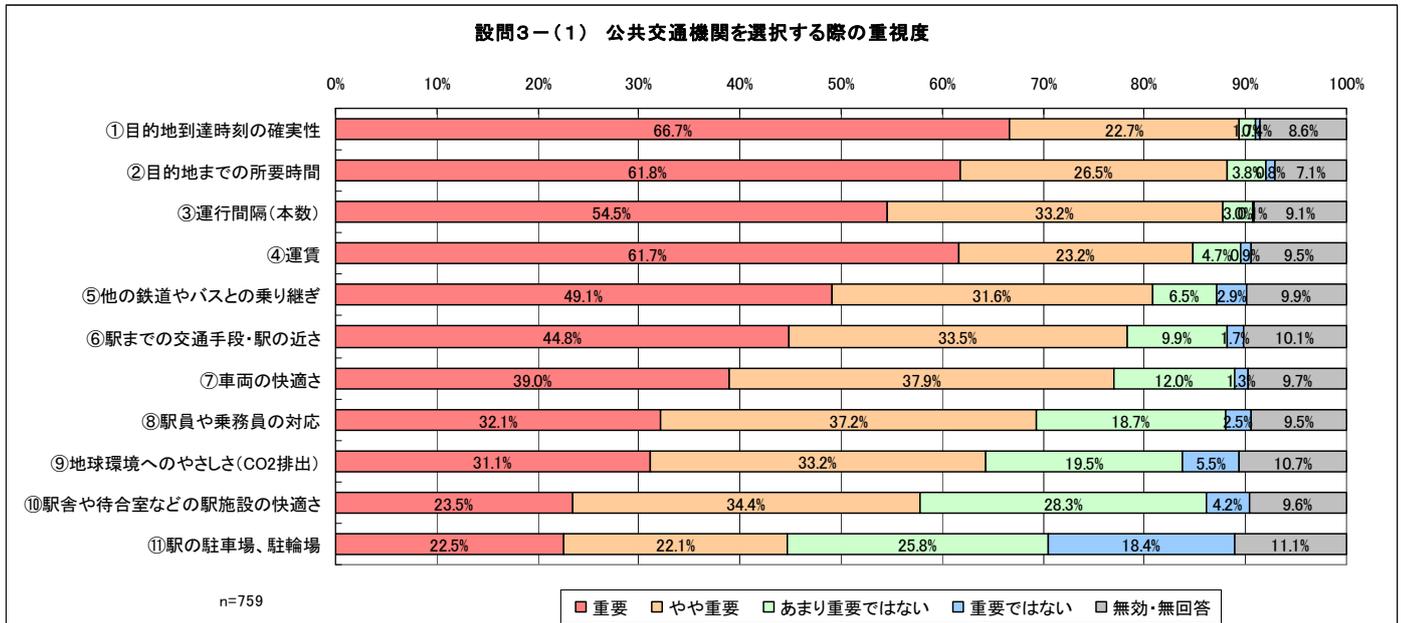
### ④ 粟生線の利用満足度

- ・ 粟生線の利用しやすさの満足度は、「到達時刻の確実性」で75%、「駅員や乗務員の対応」、「駅までの交通手段・駅の近さ」で50%を超えているものの、「駅施設の快適さ」、「目的地までの所要時間」は40%を下回っており、「運賃」では13%と低い。(満足度：回答で“満足”と“ほぼ満足”と答えた方の割合)



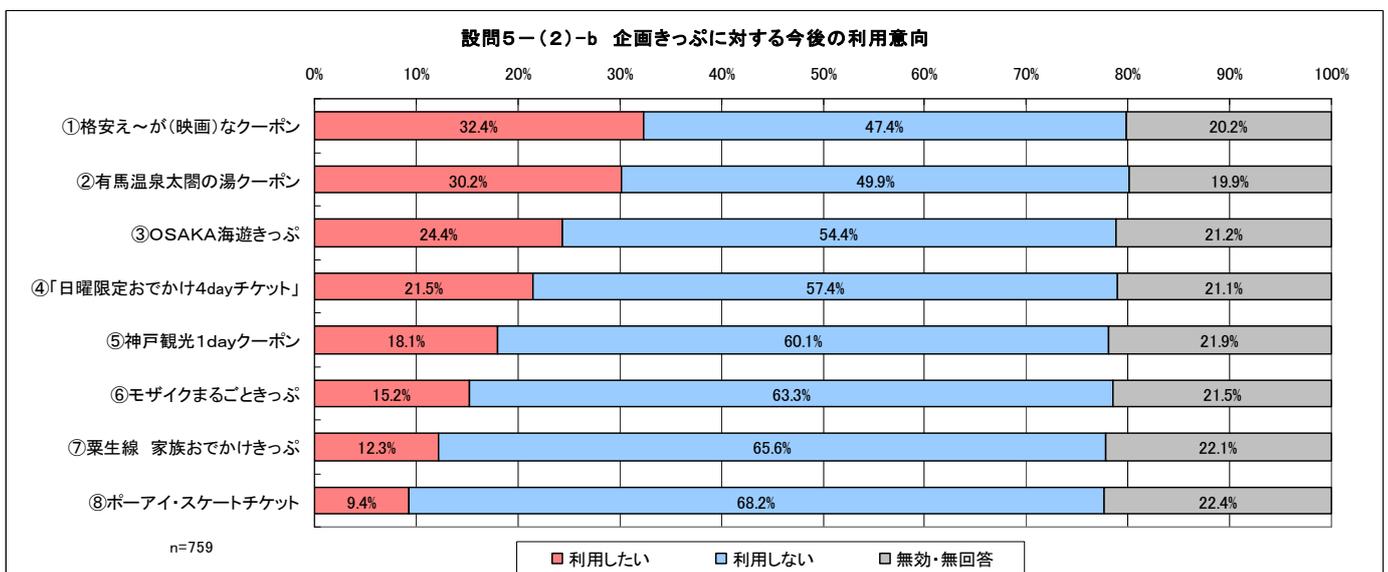
### ⑤ 公共交通機関を選択する際に重視する内容

- 公共交通手段選択には、「到達時刻の確実性」や「目的地までの所要時間」、「運賃本数」や「運賃」を重視している。



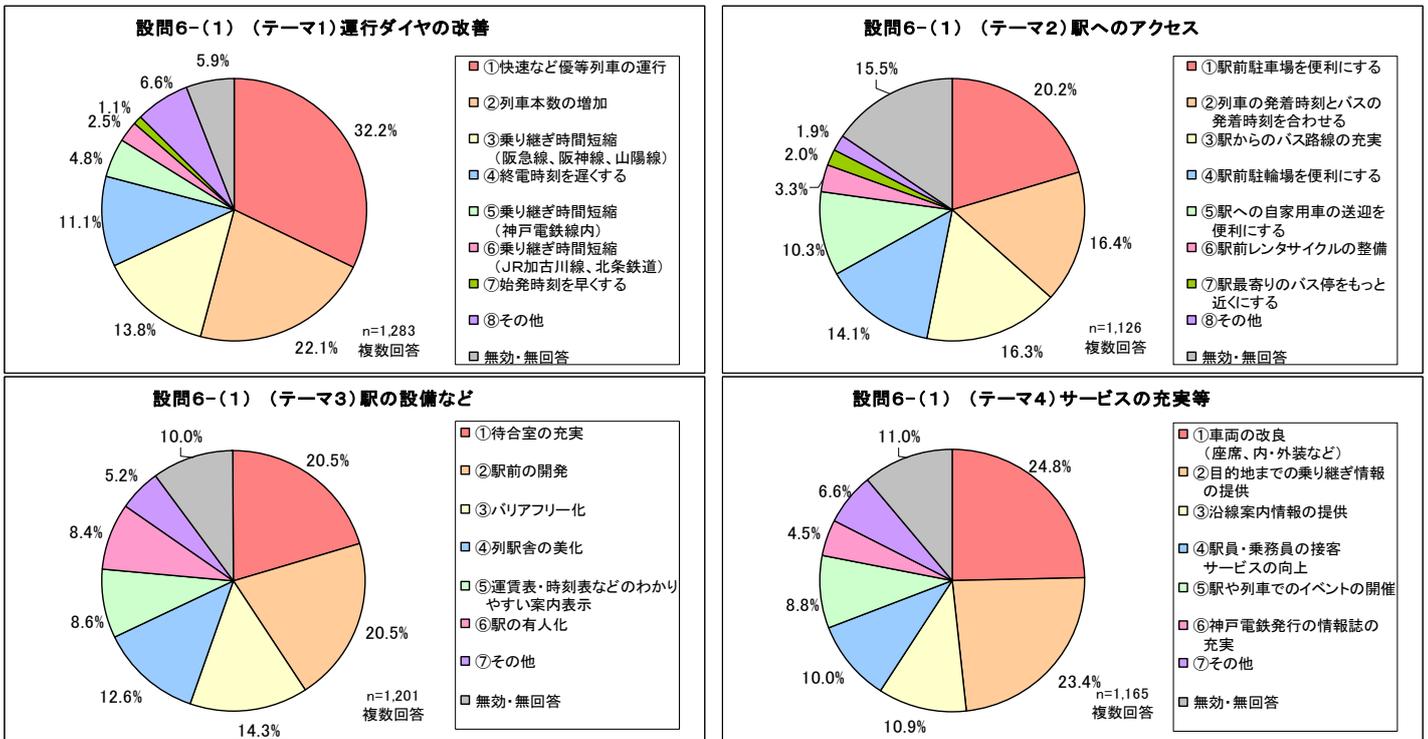
### ⑥ 企画きっぷの認知度と利用意向

- 企画きっぷについては概ね半数の方が知っているものの、利用している人はいずれも10%未満である。
- 利用意向は、「格安え〜が(映画)なクーポン」や「有馬温泉太閤の湯クーポン」で高い。



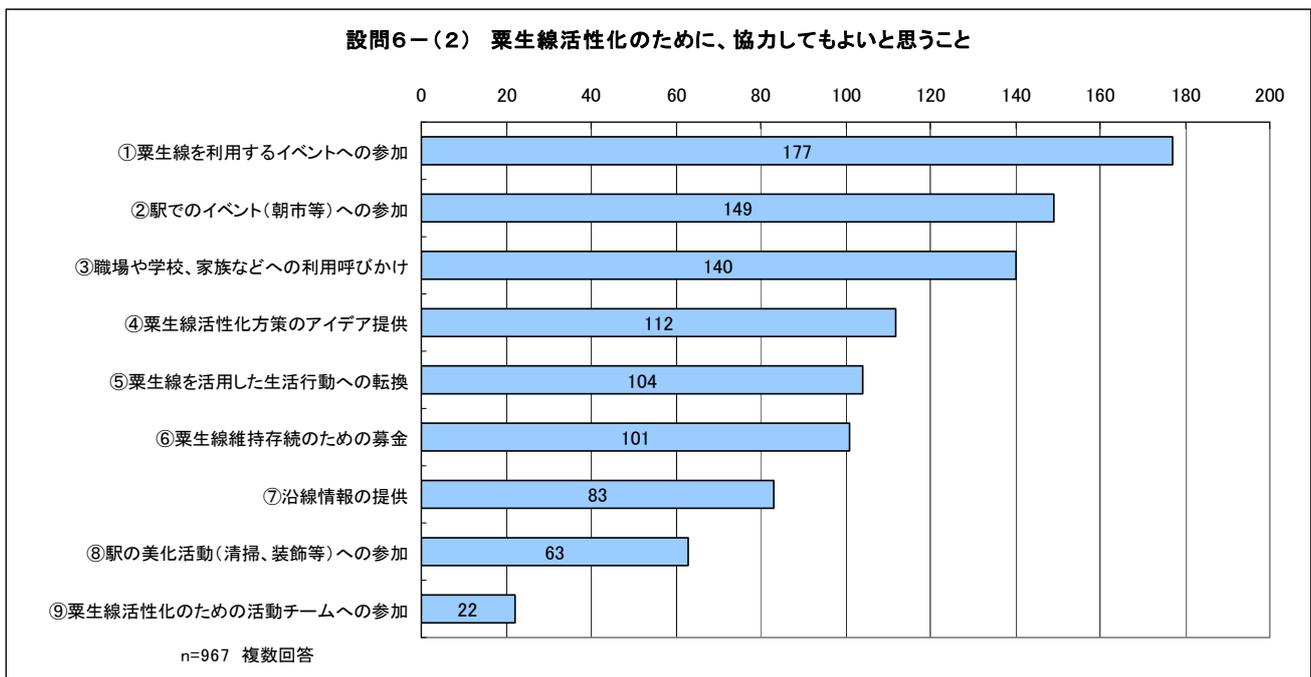
## ⑦ 粟生線を活性化するための方法

- ・ 運行については、「優等列車の運行」や「本数の増加」が重要という意見が多い。
- ・ 駅へのアクセスは、「駅前駐車場・駐輪場を便利に」や「バス発着時刻の整合」、「駅からのバス路線充実」が重要という意見が多い。
- ・ 駅の整備では、「待合室の充実」や「駅前の開発」、サービスの充実では、「車両の改善」や「乗り継ぎ情報提供」が重要という意見が多い。



## ⑧ 粟生線活性化のための協力の意向

- ・ 「粟生線を利用するイベントの参加」や「駅でのイベントの参加」、「職場や学校、家族などへの利用呼びかけ」などへの協力意向が比較的多い。



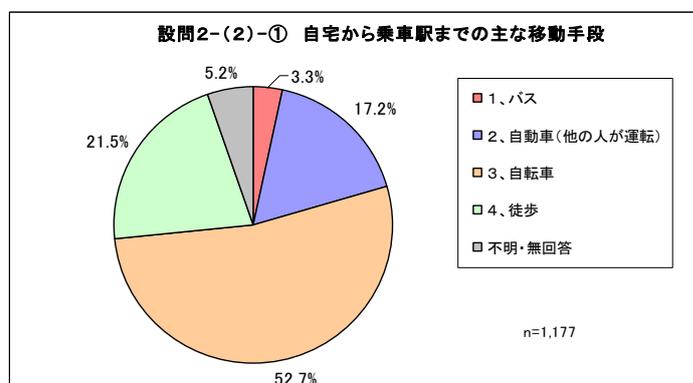
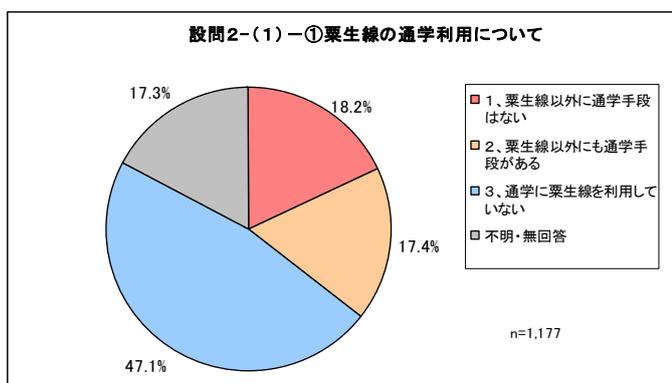
## 2) 高校生アンケート

### ① 高校生アンケート調査概要

- 実施主体 : 神戸電鉄粟生線活性化協議会
- 調査対象者 : 沿線高校(三木北、三木東、三木、小野、小野工業) 5校の1年生
- 調査票配布数 : 約1,300名
- 実施時期 : 平成22年1月～2月
- 調査票回収数 : 1177名

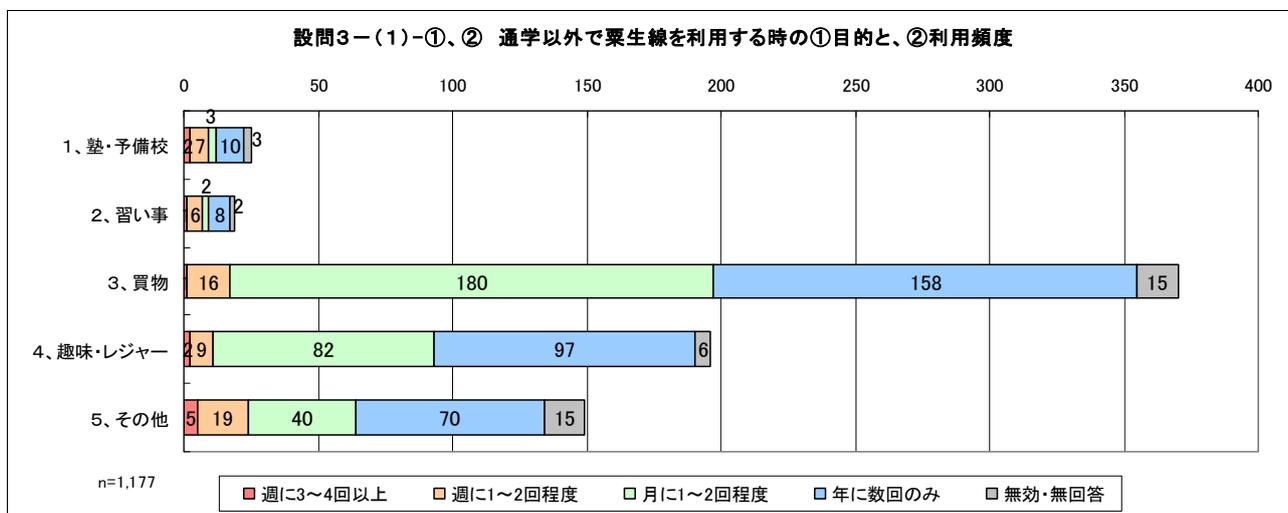
### ② 通学での粟生線利用状況

- ・ 通学に粟生線を利用しているのは36%で、そのうちの半数が粟生線以外に通学手段がないと回答している。
- ・ 粟生線以外の通学手段は、自転車が多く、次いでバスや徒歩となっている。



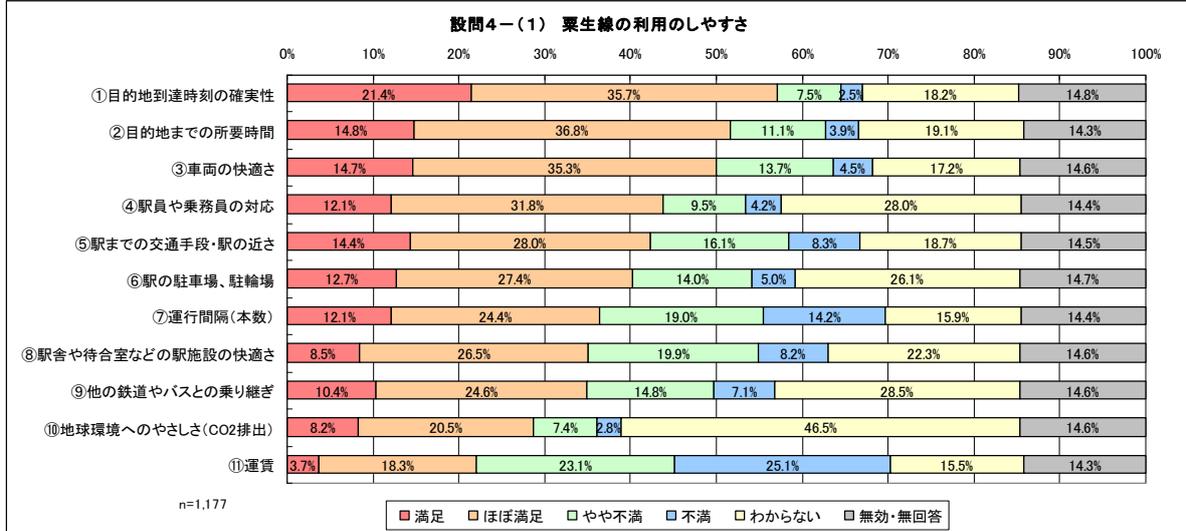
### ③ 通学以外の粟生線利用状況

- ・ 通学以外の粟生線の利用は「買物」目的が多いものの、その頻度は「月に1～2回程度」以下がほとんどである。
- ・ 「買物」や「趣味・レジャー」では、粟生線、神戸高速線、JR加古川線の利用が多く、利用する駅は、志染駅、小野駅、三木駅が多い。



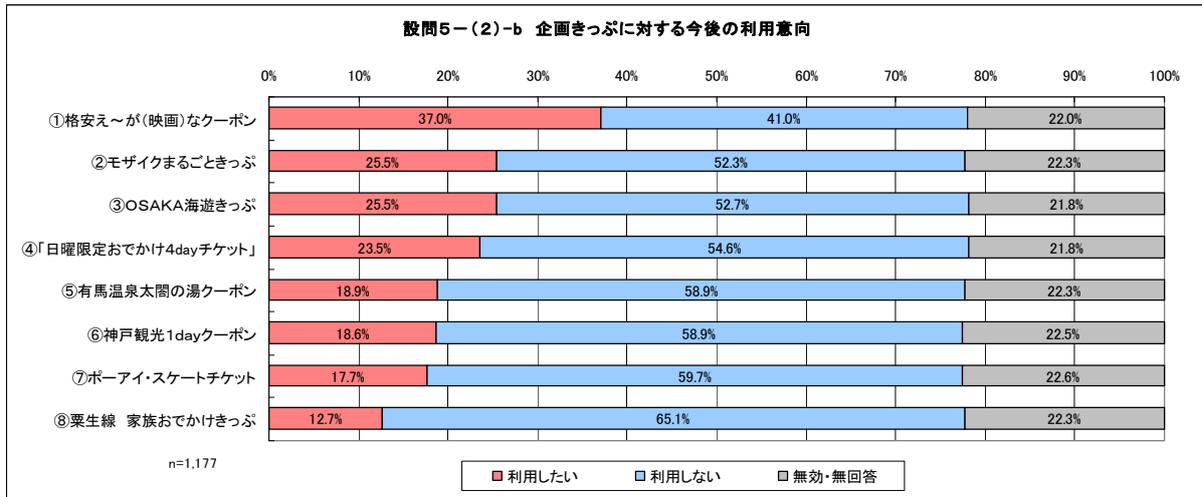
#### ④ 粟生線に対する印象や評価

- ・ 粟生線に対して、「到達時間の確実性」や「所要時間」は他の項目に比べ満足度が高いが、「運賃」や「他の鉄道やバスとの乗り継ぎ」で満足度が低くなっている。



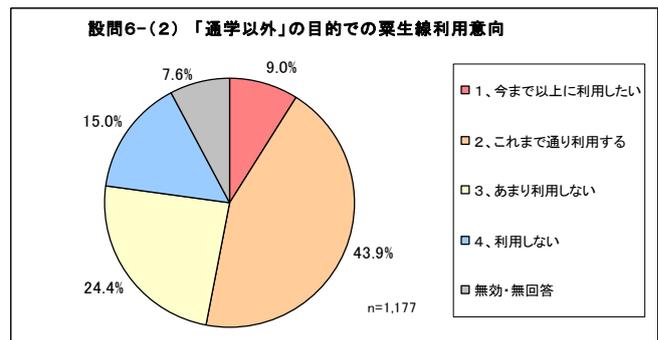
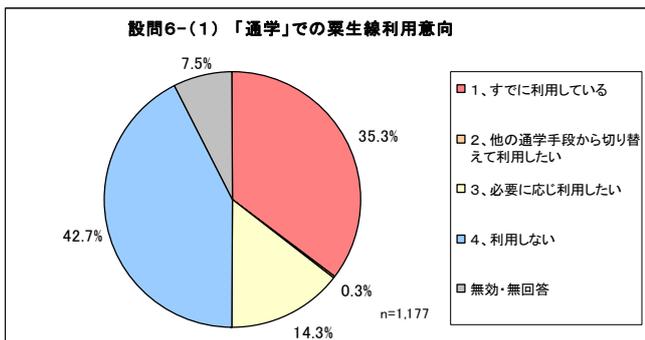
#### ⑤ 企画きっぷの認知度と利用動向

- ・ 企画きっぷを「利用した」ことがあるのは約2%未満であり、「知っている」を含めても20%に届かないが、「利用したい」は最大で37%ある。



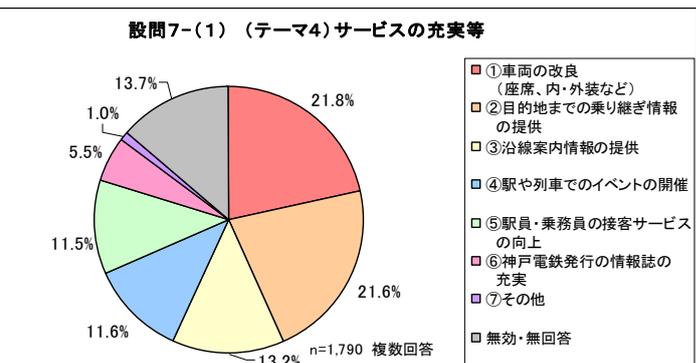
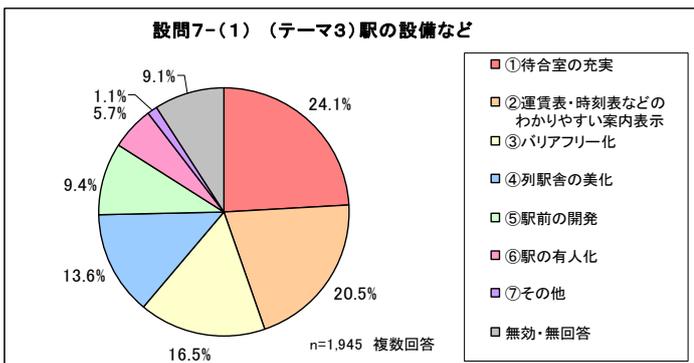
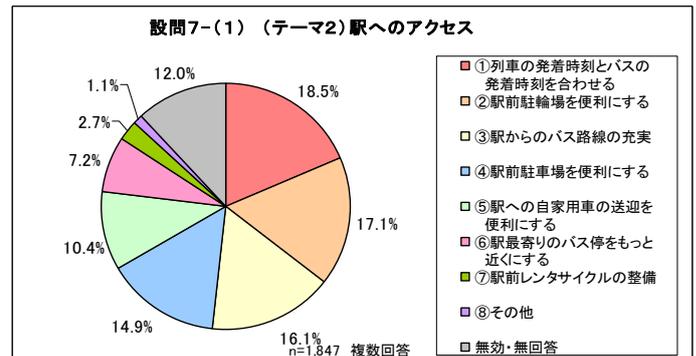
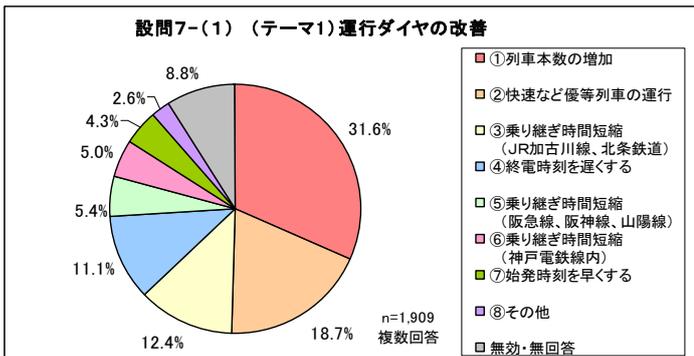
#### ⑥ 今後の利用可能性

- ・ 通学での粟生線の利用意向は「利用しない」が43%と最も多いものの、「必要に応じ利用したい」が14%である。
- ・ また、通学以外では、「今まで以上に利用したい」が9%である。

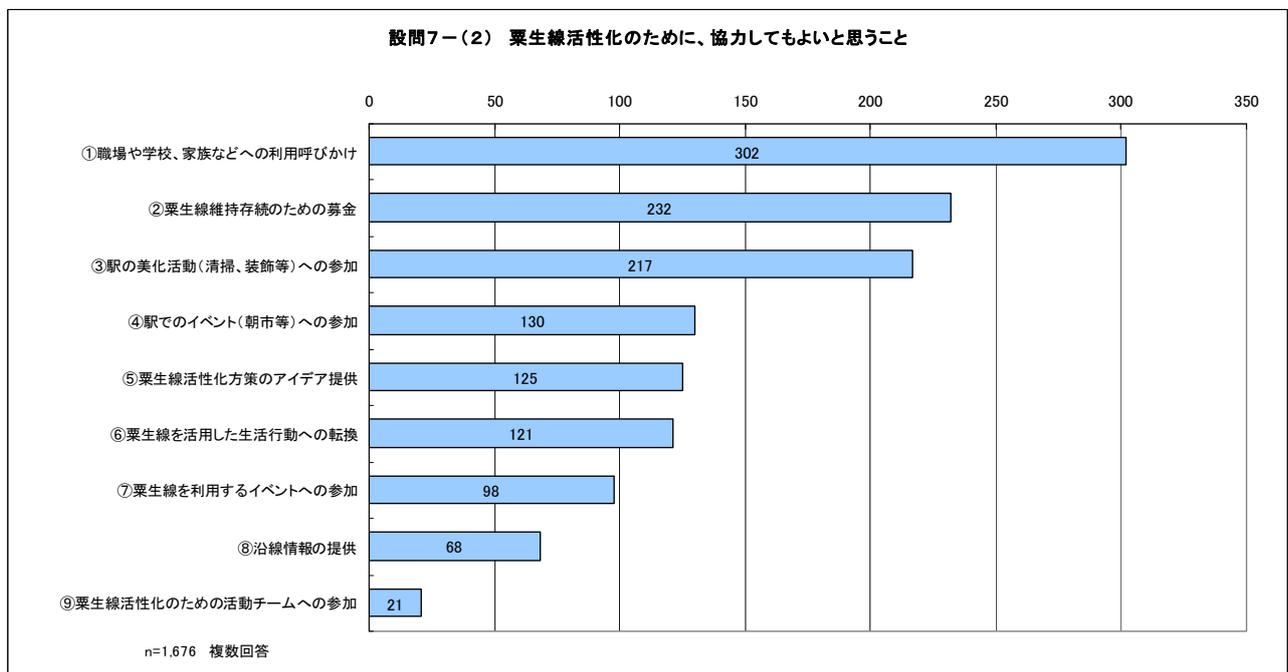


## ⑦ 粟生線活性化の方策等について

- ・ 運行ダイヤについては、「列車本数の増加」や「優等列車の運行」、駅アクセスでは、「列車とバスの発着時間の整合」や「駅前駐輪場を便利に」、「駅からのバス路線の充実」へのニーズが高い。
- ・ また、駅の設備について、「待合室の充実」や「運賃表・時刻表のわかりやすい案内表示」、「バリアフリー化」、サービスの充実では、「車両の改善」や「乗り継ぎ情報の提示」へのニーズが高い。



- ・ 協力意向では、「学校や家族への呼びかけ」や「募金」、「駅の美化運動への参加」への協力意向が多い。



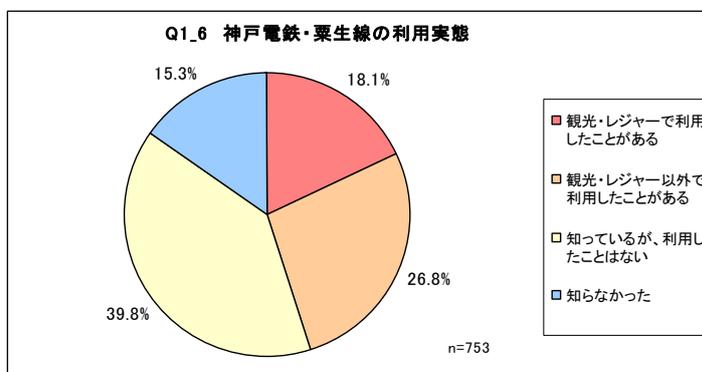
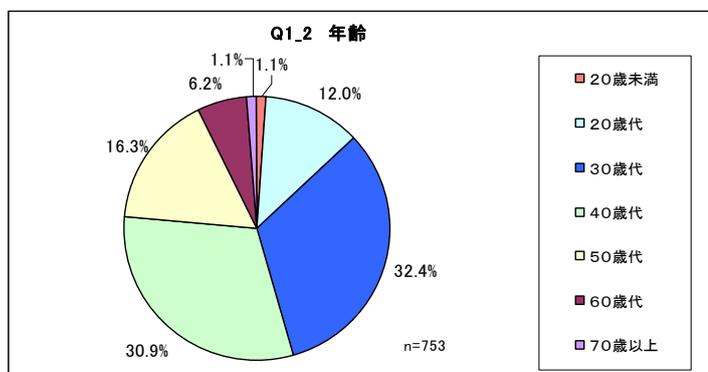
### 3) 観光旅行者アンケート

#### ① 観光旅行者アンケート調査概要

- 実施主体 : 神戸電鉄粟生線活性化協議会
- 調査対象者 : 粟生線周辺市町在住の WEB 調査モニター(神戸市、三木市、小野市、三田市、明石市など 11 市町)
- 調査票配布数 : 753 名
- 実施時期 : 平成 22 年 1 月～2 月
- 調査票回収数 : 753 名 (予定数達成時に締切)

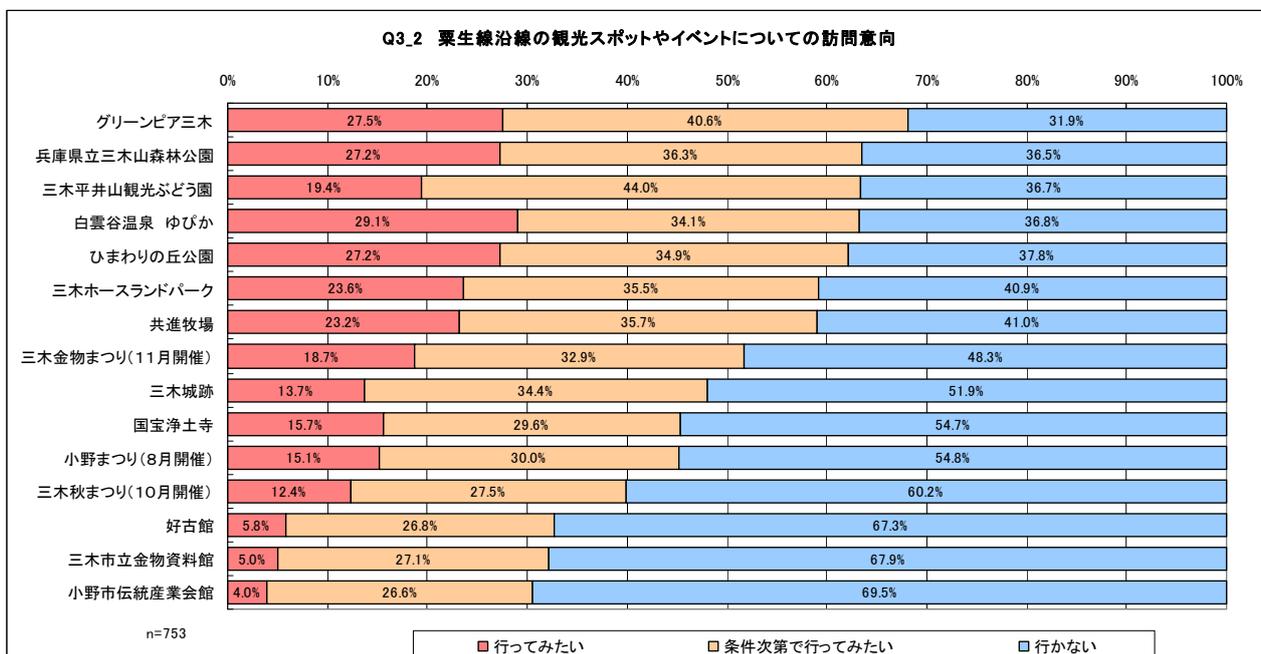
#### ② アンケート回答者の属性と粟生線の認知度

- ・ アンケート回答者は 30 歳代・40 歳代が全体の 63%、職業は会社員・公務員が 49%。
- ・ 粟生線を「利用したことがない」人は 40%、「知らない」人は 15%である。
- ・ 自動車は家族保有も含めると 90%が保有しており、観光やレジャーで出かける際の交通手段は自動車が 75%、鉄道が 21%である。



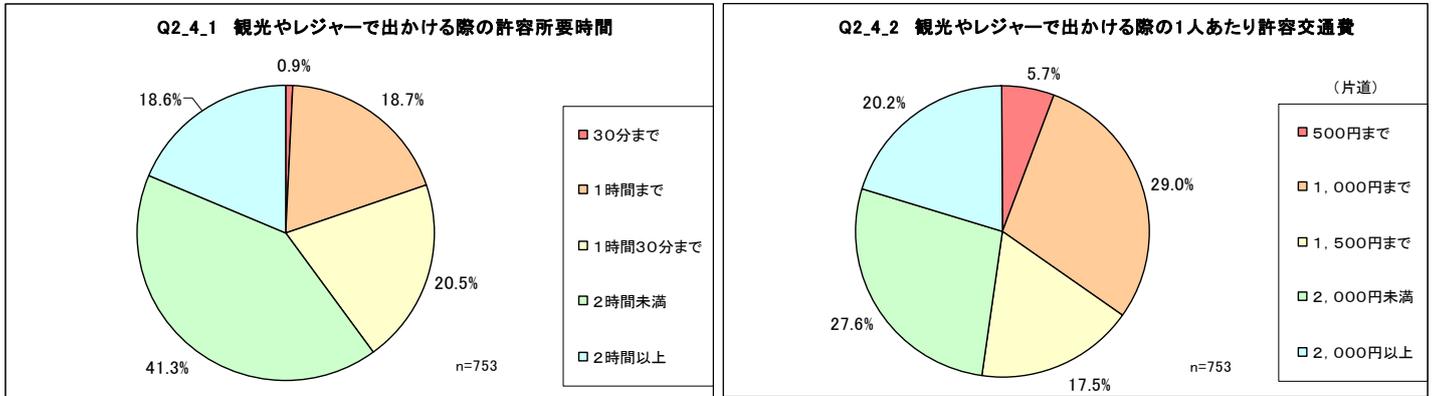
#### ③ 観光やレジャーに対する関心度

- ・ 観光やレジャーに対する関心度は「温泉」や「名物料理・名産品」、「自然公園」で高い。
- ・ 粟生線沿線の訪問意向は、「グリーンピア三木」や「三木山森林公園」、「白雲谷温泉ゆびか」等で高い。



④ 観光やレジャーのお出かけ時にかかっても許容できる所要時間・交通費

- ・ お出かけの所要時間は、片道 2 時間未満が 81% を占める。
- ・ お出かけの 1 人あたり交通費は、片道「1,000 円まで」が 29% と最も多く、1,500 円までが過半数を占めている。

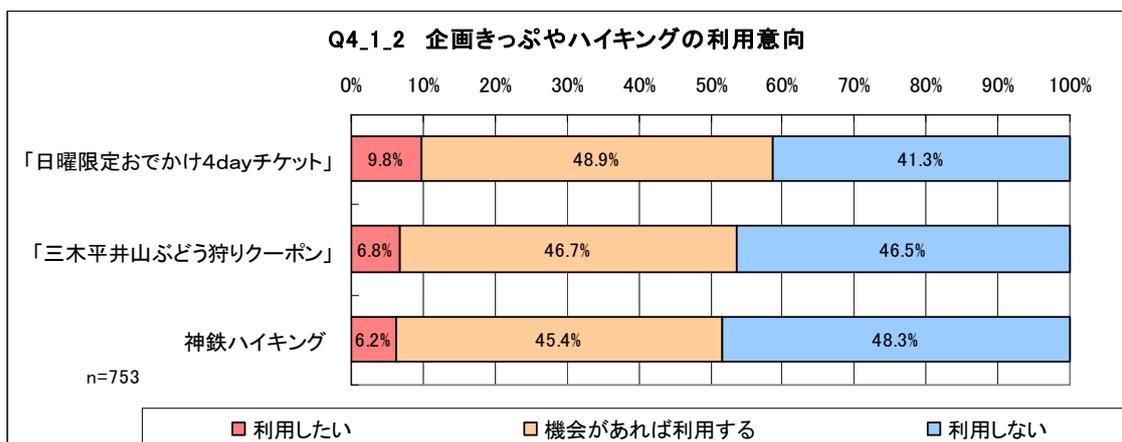
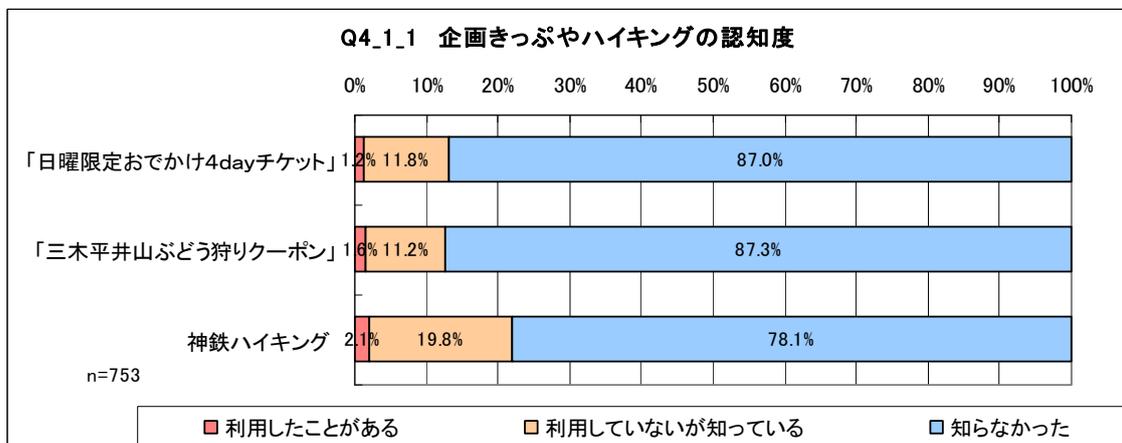


⑤ 出かける際の主な情報源

- ・ 出かける際の情報源は、「インターネット」が 36%、「旅行・レジャー雑誌、ガイドブック」が 25%、「新聞・テレビ」が 14% の順で多くなっている。(複数回答)

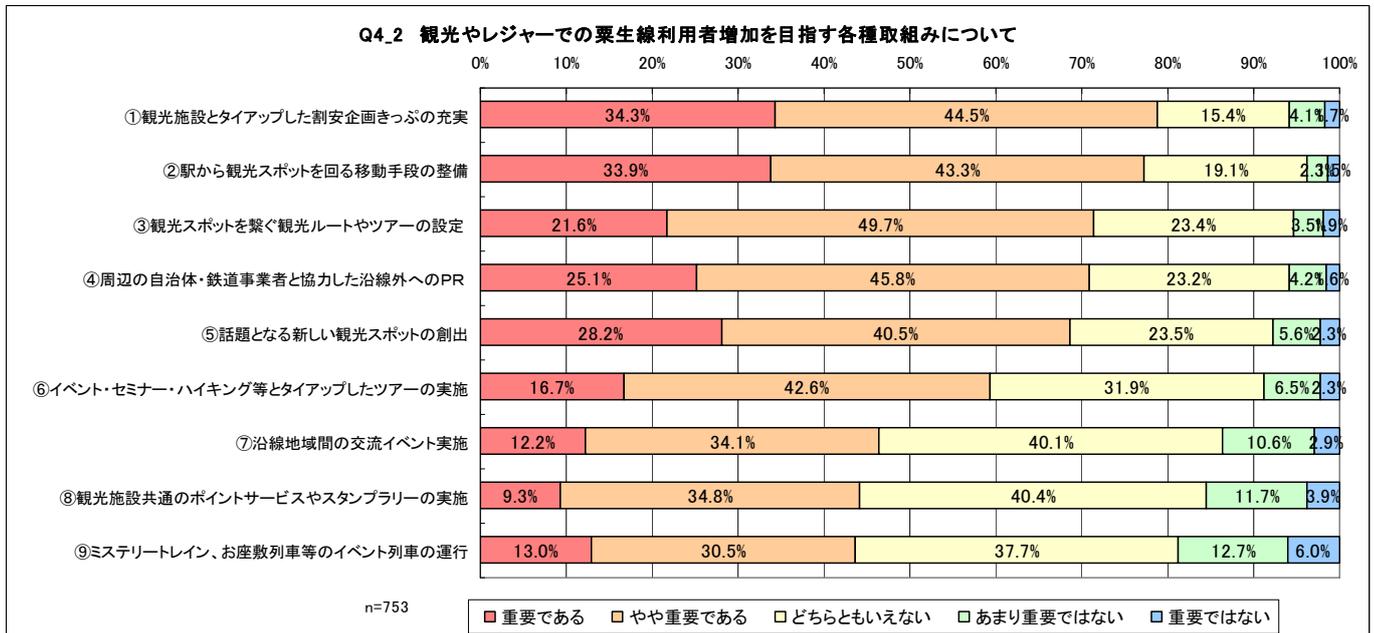
⑥ 企画きっぷ等の認知度と利用意向

- ・ 以下の企画きっぷ等の認知度は 13~22% と低いが、利用意向はいずれも 50% を超えている。



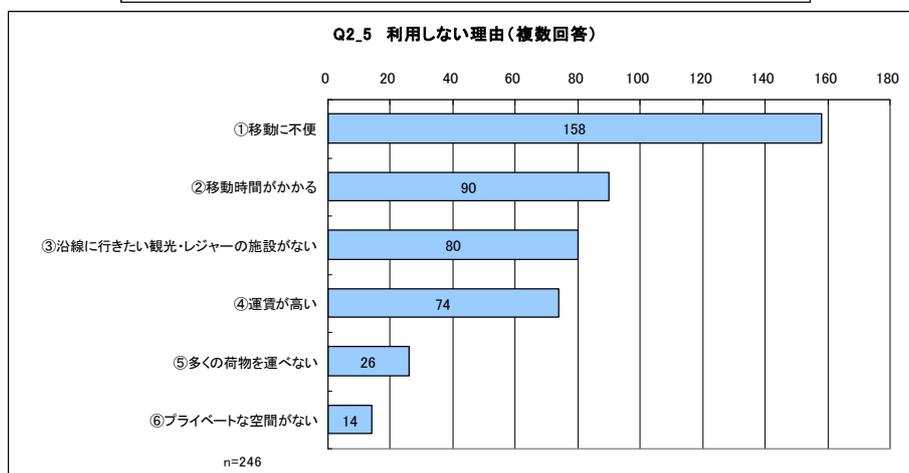
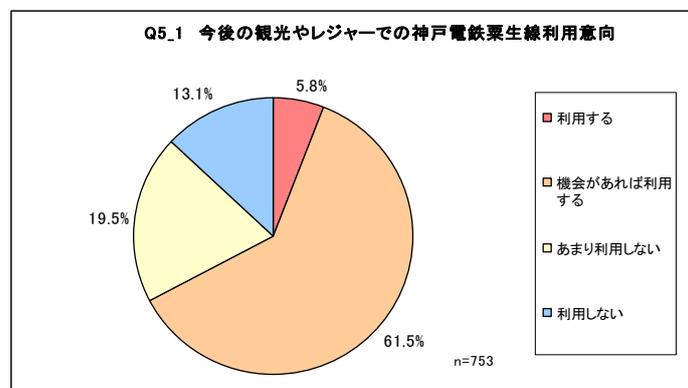
### ⑦ 観光やレジャーへの取り組みの重要度

- 「観光施設とタイアップした割安企画きっぷの充実」や「駅から観光スポットを回る移動手段の整備」の重要度が高い。



### ⑧ 粟生線の利用意向

- 「利用する」や「機会があれば利用する」が67%と多い。
- 利用しない理由は「移動に不便」や「移動時間がかかる」、「沿線に行きたい観光・レジャー施設がない」といった理由が多い。



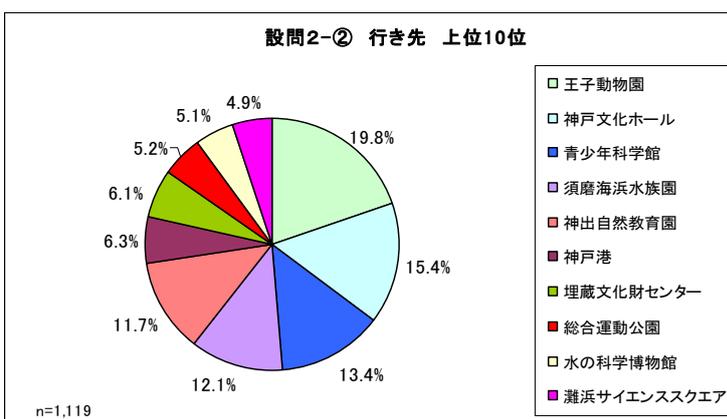
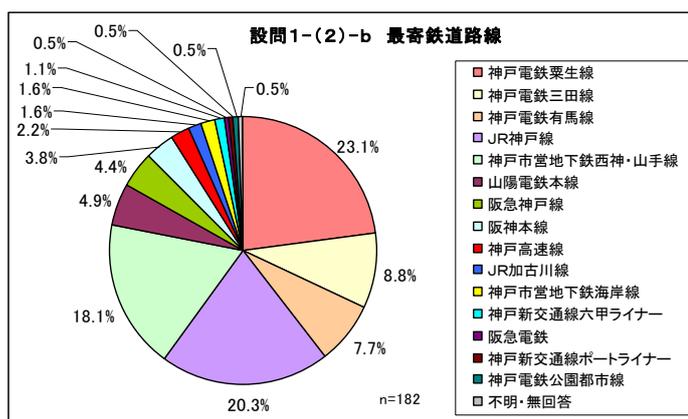
#### 4) 小中学校アンケート

##### ① 小中学校アンケート調査概要

- 実施主体 : 神戸電鉄粟生線活性化協議会
- 調査対象者 : 神戸市、三木市、小野市の小学校、三木市中学校
- 調査票配布数 : 199 校
- 実施時期 : 平成 22 年 1 月～2 月
- 調査票回収数 : 小学校 174 校、中学校 8 校

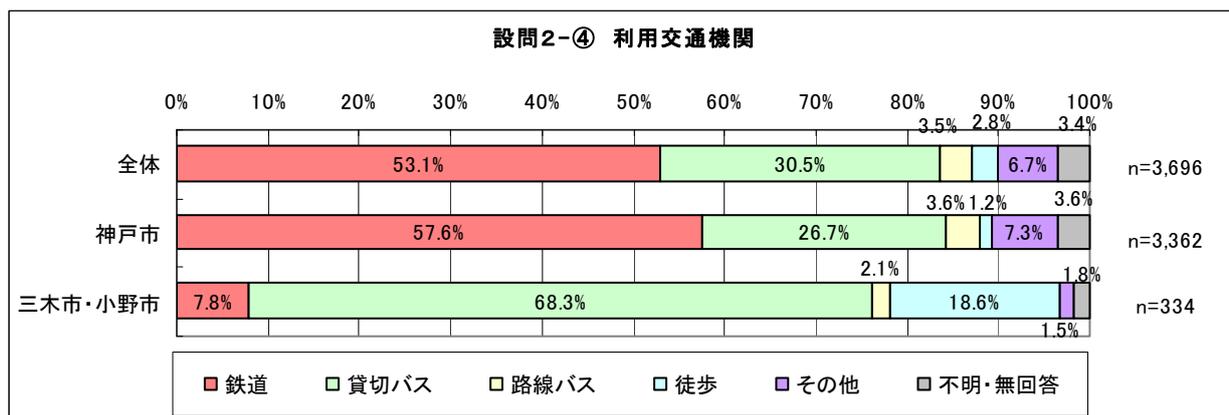
##### ② 学校の最寄鉄道路線と校外学習実施状況

- ・ 回答いただいた小中学校は、神戸市北区、西区、三木市の順で多く、最寄の鉄道路線は、神戸電鉄粟生線が 23%、JR 神戸線が 20%、神戸市営地下鉄西神・山手線が 18%の順で多くなっている。
- ・ 自然体験をはじめ校外学習の時期は 5 月や 10 月に集中している。
- ・ その他の月では、歴史学習は 4 月や 6 月、産業学習は 11 月、科学学習は 9 月、環境学習は 6 月、文化風土は 2 月での実施も多くなっている。
- ・ 行き先で最も多いのは王子動物園の 20%で、次いで神戸文化ホールの 15%、青少年科学館の 13%の順で多くなっている。



##### ③ 利用交通機関

- ・ 利用交通機関は、鉄道が最も多く、過半数となっており、次いで貸切バスが多い。
- ・ ただし、三木市・小野市では、貸切バスが約 7 割となっており、鉄道は 1 割未満と利用が少ない。

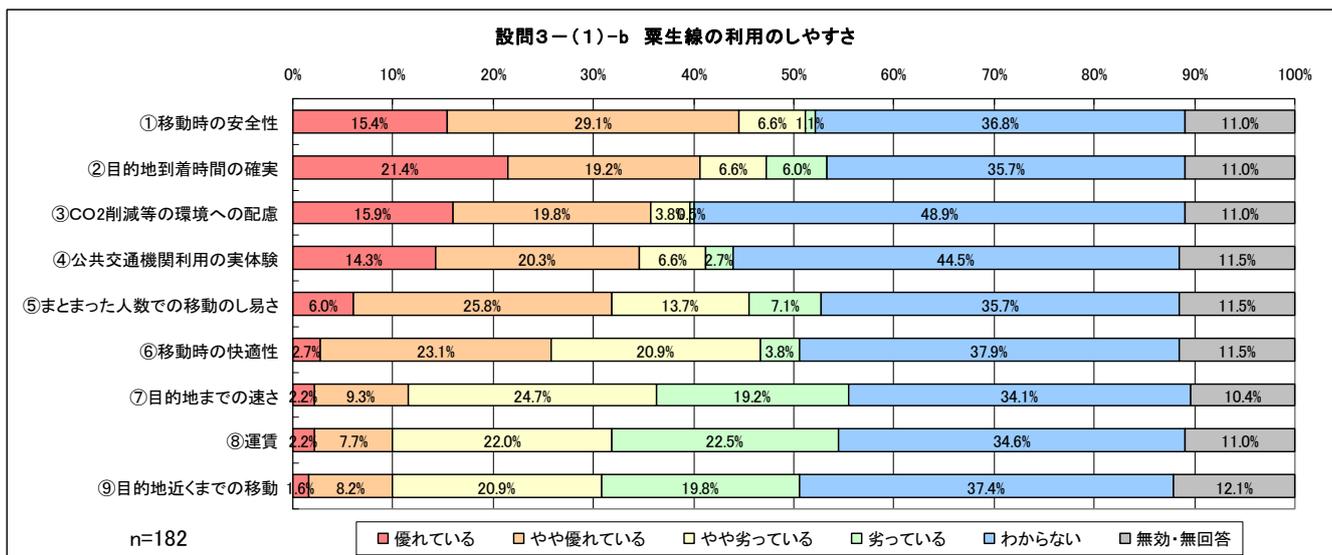


#### ④ 校外学習で交通機関を利用する場合の重要度

- 交通機関は、「移動の安全性」や「目的地近くまでの移動」、「運賃」を重視しており、三木市・小野市では、これらの他に「まとまった人数での移動のしやすさ」も重視している。

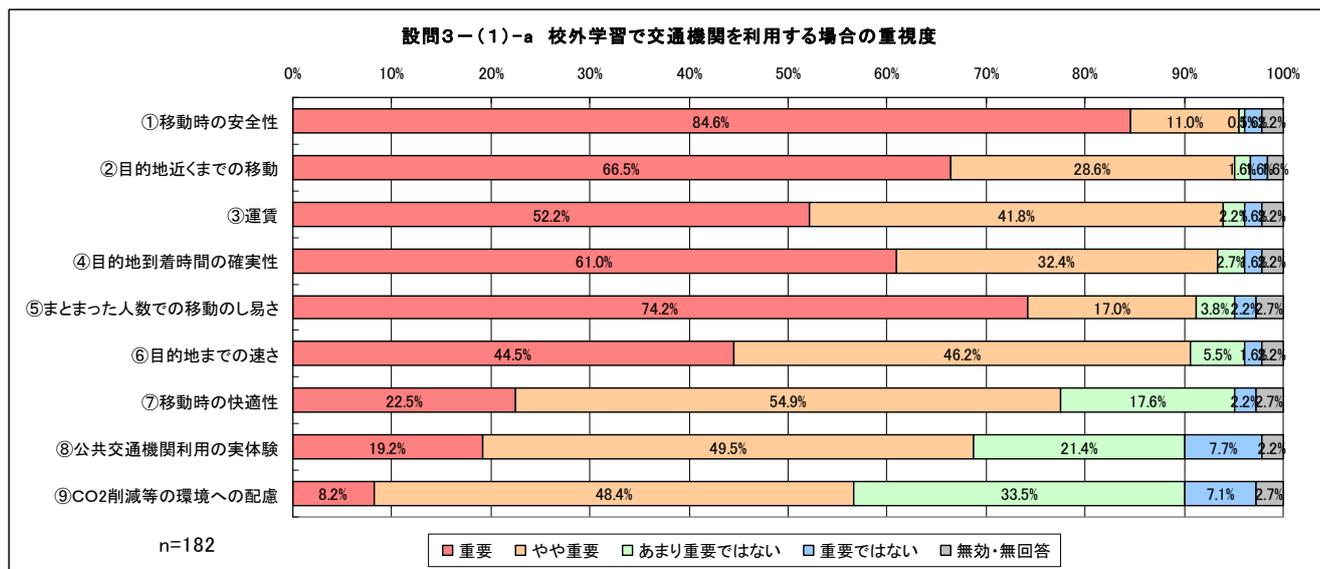
#### ⑤ 粟生線の利用のしやすさ

- 粟生線の利用しやすさは、「優れている」が全ての項目で半数以下であり、「目的地近くまでの移動」や「運賃」、「目的地までの速さ」での評価が低い。



#### ⑥ 校外学習における移動手段の選択重視度

- 移動手段の選択には、「移動の安全性」や「目的地近くまでの移動」を重視している。三木市・小野市ではこれらに加え、「まとまった人数での移動のしやすさ」も重視している。



#### ⑦ 団体利用割引運賃の認知度

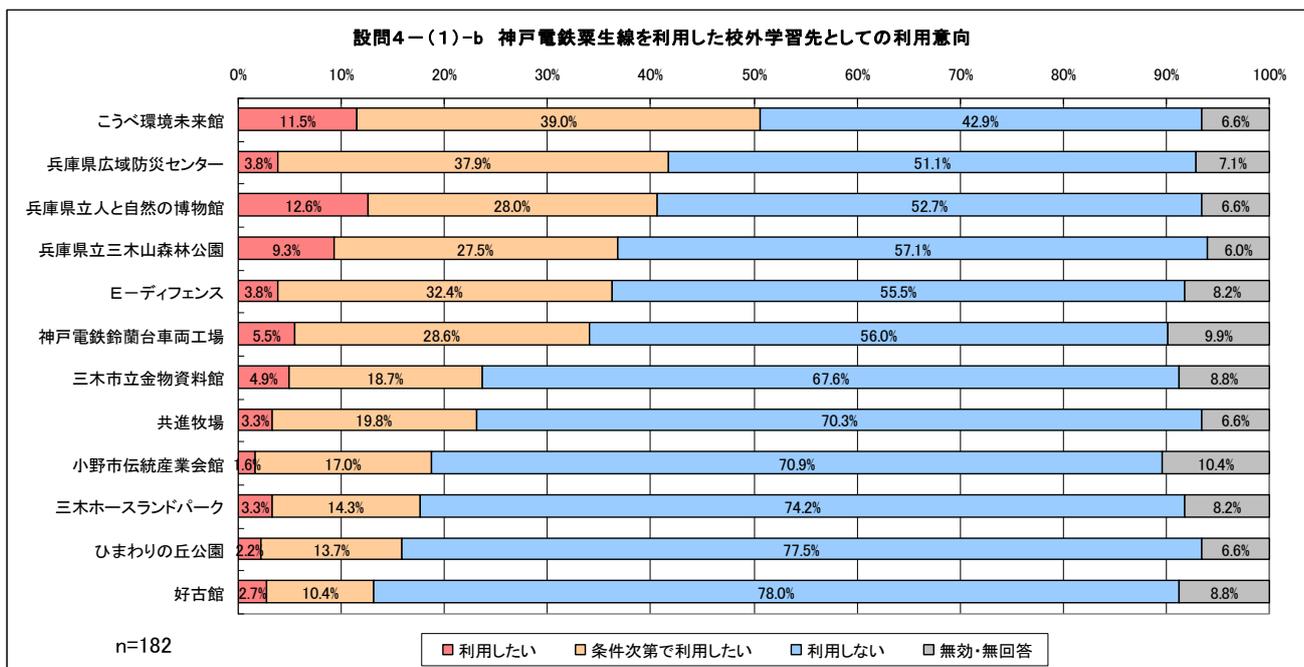
- 団体割引の認知度は「知っている」が59%と過半数であるが、「知らなかった」が39%と4割近くある。神戸市では「知らなかった」が4割を超えている。

### ⑧ 校外学習時の鉄道利用意向

- ・ 鉄道利用意向は、「できれば利用したい」が13%あるものの「利用は難しい」が52%と多い。三木市・小野市では「できれば利用したい」が31%ある。

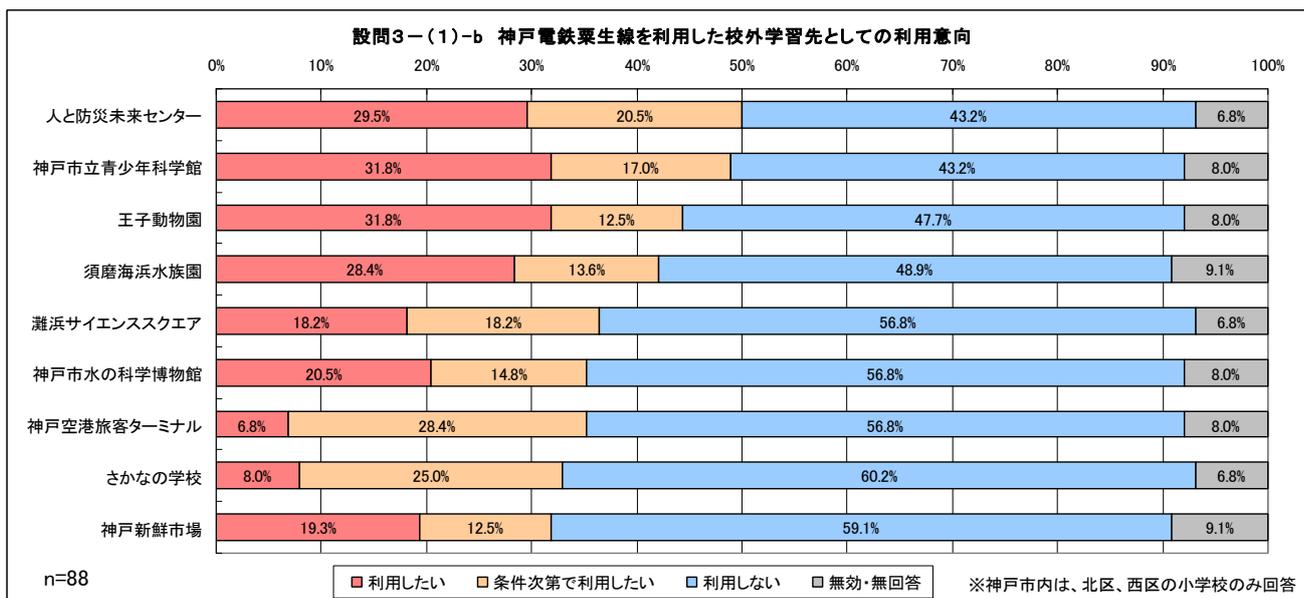
### ⑨ 神戸電鉄粟生線を利用した校外学習先としての利用意向

- ・ 利用意向は、「こうべ環境未来館」や「広域防災センター」、「人と自然の博物館」で高い。



### ⑩ 粟生線を利用した神戸市内の施設の校外学習先としての利用意向

- ・ 利用意向は、「人と防災未来センター」や「青少年科学館」、「王子動物園」、「須磨海浜水族園」で高い。



### (3) 沿線利用者ニーズのまとめ

#### ①粟生線の利用しやすさ

- ・ 「到達時刻の確実性」、「駅員や乗務員の対応」、「駅までの交通手段・駅の近さ」では利用者の満足度は高くなっている。
- ・ 一方、「運賃」、「駅施設」、「目的地までの速さ（所要時間）」、「他の鉄道やバスとの乗り継ぎ」で満足度が低い。

#### ②公共交通機関利用時に重視すること

- ・ 利用者は、「運賃」や「到達時刻の確実性」、「移動の安全性」、「運行本数」等を重視して公共交通機関を選択している。

#### ③企画きっぷの認知度と利用意向

- ・ 企画きっぷや団体割引の認知度が低く利用実績も少ない。
- ・ しかしながら、企画きっぷの利用意向は、とくに観光旅行者で過半数を占めるなど多くなっている。

#### ④利用者の考える粟生線の活性化方策

- ・ 利用者は以下のような活性化策へのニーズが高い。
  - 運行：優等列車の運行、列車本数の増加 等
  - アクセス：駅前駐車場・駐輪場整備、バス発着時刻の整合、バス路線の充実 等
  - 駅設備：待合室の充実、運賃表・時刻表のわかりやすい案内表示、バリアフリー化 等
  - サービス：車両の改善、乗り継ぎ情報の提示、割安企画きっぷ、観光地への移動手段確保 等

#### ⑤粟生線活性化のための協力意向

- ・ 「粟生線を利用するイベント参加」や「駅でのイベント参加」、「職場や学校、家庭での利用呼びかけ」、「ボランティア活動への参加」等の協力意向が高い。

#### ⑥今後の粟生線の利用意向

- ・ 観光旅行者の約7割をはじめ、学生の約2割、小中学校の約1割で今後の粟生線の利用意向がある。
- ・ 利用しない理由は、「移動に不便」や「移動時間がかかる」、「沿線に行きたい施設がない」、「運賃が高い」といった理由が多くなっている。

### 3. 神戸電鉄粟生線の活性化に向けた課題

前述の通り、粟生線の運営状況は年々厳しくなっていくことが十分に予想される。このような状況から、粟生線を取りまいている課題として、次の6点が挙げられる。

#### 3-1 他の交通機関との競合

神戸電鉄は山間部を通過しており、急勾配および曲線区間が多いことから高速運転できない。また、レールの摩耗等が激しい等、安全を保つための維持修繕費が多額となっている。

駅の運営については主要駅を除く全駅で無人化による効率化が図られているものの、運賃は高い設定とせざるを得ない。

このような状況から、自動車、バス、神戸市営地下鉄との競合が発生しており、沿線住民等に粟生線利用を選択していただけるように、輸送機能およびサービスの改善が必要である。

#### 3-2 狭い駅勢圏（駅の集客範囲）

粟生線では、バスや自動車・自転車・バイクなどによる円滑なアクセスのための施設情報および公共交通機関に関する運行情報の提供が十分とはいえず、最寄駅から離れた距離の住民等が粟生線利用することへの障害となっている。

駅勢圏（駅の集客範囲）を拡大するためには、パーク&ライド、バスによるアクセス、自転車・バイクの円滑な駐輪等に留意した駅へのアクセスの改善が必要である。

#### 3-3 定期利用の減少と少ない域外からの流入

粟生線では、定期利用者の減少が著しい。また、沿線においては神鉄ハイキングの開催やぶどう狩りなどの観光農園、三木市立金物資料館、小野市伝統産業会館といった伝統産業施設等が立地しているものの、集客力が高い観光スポットや施設、イベント等は鉄道の利用に繋がっていない。

定期利用や域外からの利用を促進するためには、沿線に立地している企業等の通勤・通学の利用促進に加え、沿線の観光資源の発掘および魅力向上、さらにPRすることにより、鉄道利用者を確保していくことが必要である。

### 3-4 過度に自動車に依存した交通行動

粟生線沿線地域では、自動車保有率が増加しており、自動車利用の割合が高まっている。鉄道利用者を高めるためには、沿線地域におけるモビリティ・マネジメントの実施や行政等による公共交通の率先利用等、公共交通利用意識の啓発が必要である。

※モビリティ・マネジメント：当該の地域や都市を「過度に自動車に頼る状態」から「公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を適度に（＝かしこく）利用する状態」へと少しずつ変えていく一連の取り組み（出典：国土交通省パンフレット 平成19年3月）

### 3-5 利用者動向・ニーズに対応した施設への改良・更新

粟生線には、20年以上更新していない駅や施設があり、これら鉄道施設の老朽化が進んでいる。このため、国庫補助制度も活用しながら施設の更新、利用者の動向やニーズに対応した施設への改良により、安全で安定した鉄道輸送サービスの確保に努めていく必要がある。

### 3-6 沿線住民との協力体制の構築

沿線住民からは、粟生線維持の要望があるものの、粟生線利用者は減少し続けている。

今後、沿線地域への粟生線利用の促進に向けて、関係者が一丸となって「自分達の地域の足」としての協力体制を構築していくことが必要である。

## 4. 神戸電鉄粟生線活性化の方向性

### 4-1 基本方針

本計画の前提となる理念、および6つの基本方針を次に示す内容で定める。

#### ◆ 理念

粟生線は、沿線地域における重要な移動手段（交通手段）であるとともに、人や地域間・文化の交流、地域の活性化など、沿線地域にとって重要な役割を担っている。

また、少子高齢化が進行するなか、誰もが気軽に快適に活動できる“豊かなまち”を実現するため、粟生線等の公共交通を中心としたまちづくりが求められている。このことから、地域や自治体、神戸電鉄等の各関係者が主体となって、粟生線活性化に向けて取り組んでいくことが不可欠である。

神戸電鉄の積極的な取り組みはもとより、沿線住民や自治体等の関係者相互の協力により地域にいつまでも愛され、利用し続けられる粟生線となることを念頭に置き、次の理念を掲げる。

**地域に親しまれ、地域とともに歩む、  
持続的・安定的な路線維持と活性化の実現**

#### ◆ 6つの基本方針

方針1	方針2	方針3	方針4	方針5	方針6
他の交通機関に対する競争力の向上	駅勢圏（駅の集客範囲）の拡大	定期利用者と交流人口の拡大	公共交通優先利用行動の喚起	安全で安定した鉄道輸送サービスの確保	沿線住民との協働
（課題） 沿線住民等に粟生線利用を選択していただけるよう、輸送機能およびサービスの改善等、他の交通機関に対する競争力を向上することが必要	（課題） 施設情報や公共交通機関の運行情報の提供とパーク＆ライド、自転車・バイクの円滑な駐輪等に留意した鉄道と他の交通機関との乗り継ぎの円滑化などの駅へのアクセス改善や、駅を中心としたまちづくりが必要	（課題） 沿線企業等への通勤・通学利用促進に加え、観光資源の発掘、魅力向上、PRすることが必要	（課題） 沿線地域におけるモビリティ・マネジメントの実施や行政等による公共交通の率先利用等、公共交通優先利用行動の喚起が必要	（課題） 国庫補助制度も活用しながら施設の更新、利用者のニーズに対応した施設への改良により、安全で安定した鉄道輸送サービスの確保に努めていくことが必要	（課題） 関係者が一丸となり、粟生線利用の促進に向けた協力体制を構築していくことが必要

## 4-2 計画目標

粟生線活性化実現のための具体的な目標を、以下のように定める。

粟生線の輸送人員減少に歯止めをかけ、平成24年度には平成20年度並みの年間輸送人員（730万人）の確保を目指す

単位：万人/年

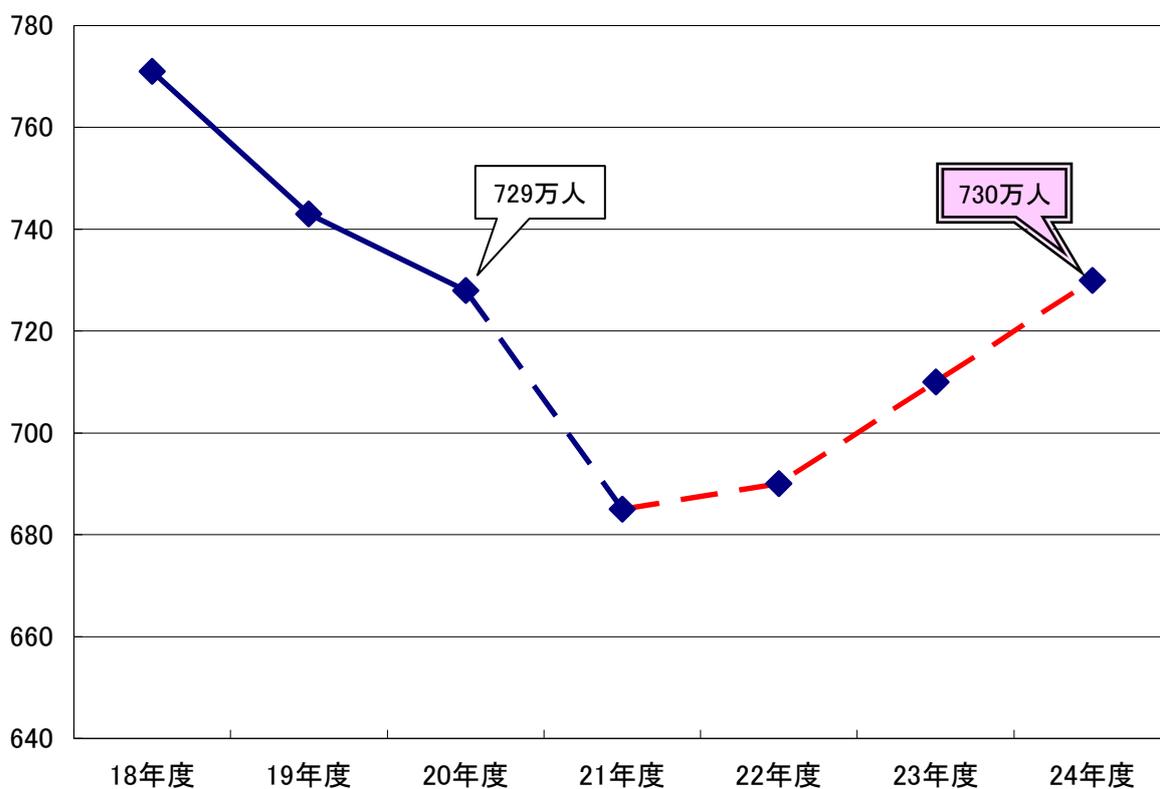


図 4-1 計画目標（年間輸送人員）

この目標の達成に向けた具体的な取り組み方針を次に示す。

### 方針1 他交通機関に対する競争力の向上

#### (目標) 輸送サービスの改善

- ・地域特性を活かした魅力ある企画きっぷ、高齢者や団体等に対応した割引制度などの充実を図るとともに、さらなる効果的なPRを行う。
- ・利用者ニーズに応じたダイヤの改善、運行本数の見直し等、現状の運行改善を図る。
- ・利用者に満足いただける接客サービスの向上を図る。
- ・駅施設の改善により、利用しやすい駅にしていく。

### 方針2 駅勢圏(駅の集客範囲)の拡大

#### (目標) 駅アクセスの改善と駅の活性化

- ・公共交通の利用を前提とした駅周辺のまちづくりを推進する。
- ・パーク&ライド、キス&ライド、サイクル&ライドの促進を図るとともに、粟生線沿線駅における駐輪施設の改善、バスとの効果的な接続など、交通端末手段とのアクセス性の向上を図る。
- ・駅情報、バスおよび列車の運行情報、駐車場情報、自転車・バイクの駐輪情報などを継続して発信することにより、誰もが使いやすい駅にする。
- ・駅前における特色あるイベントの開催、駅の空きスペースを活用した観光案内板設置、特設物産品販売屋台の出店等により、駅の活性化を図る。

### 方針3 定期利用者と交流人口の拡大

#### (目標) 定期利用者の増加と新規利用者の開拓

- ・沿線に立地する企業等へ積極的な粟生線の通勤・通学利用を働きかける。
- ・小学校、中学校等の教育機関に対して、校外学習や社会見学等での粟生線利用の促進が図れるよう、働きかけおよび利用時のサポート等を行う。
- ・沿線地域で開催される各イベントの地域間の連携を強化する。
- ・沿線地域における観光資源の発掘、魅力の向上、PRにより、粟生線沿線以外からの利用促進に繋げていく。
- ・快適で魅力的な車窓からの景観づくりに努める。
- ・粟生線の魅力を発信する鉄道に関するイベントを開催する。
- ・イベントの実施やホームページ等による広報を通じて、粟生線の魅力を発信していく。

#### 方針4 公共交通優先利用行動の喚起

##### (目標) 公共交通利用意識の向上

- ・沿線に立地する企業および学校、転入者等に対して公共交通の利用意識を向上するためにモビリティ・マネジメントを実施し、自発的な栗生線の優先利用行動を喚起する。
- ・栗生線が地域にとって身近な存在で、持続して親しまれていくよう、栗生線のキャラクターやロゴマーク、ラッピング電車等により、活性化をPRする。
- ・行政等の職員が率先して、栗生線等の公共交通機関を利用するリーダーとなってアクションを起こす。

#### 方針5 安全で安定した鉄道輸送サービスの確保

##### (目標) 安全で安定した鉄道輸送サービスの確保

- ・国庫補助制度も活用しながら、鉄道施設の効果的な更新を図る。
- ・的確に利用者ニーズを把握し、これに応じた輸送サービスへの改善を図る。

#### 方針6 沿線住民との協働

##### (目標) 沿線住民と一体となった協力体制の構築

- ・沿線地域住民の意見や要望等の把握に努め、栗生線の活性化や利用促進の協力体制を構築する。
- ・無人駅におけるボランティア活動での案内や清掃等による有人化により、地域の財産となる駅にしていく。
- ・地域の協力により、企画きっぷの販売や情報発信を行うフレンドショップ（販売拠点）を設置する。

### 4-3 取り組むべき事業

基本方針、目標を達成するために取り組むべき事業を次に示す通りに定める。

計画の目標	事業
輸送サービスの改善	①企画きつぷの充実と効果的なPR活動
	②割引制度等の充実
	③ダイヤの改善・運行本数見直し等の運行改善
	④接客サービスの向上
	⑤利用しやすい駅・快適な駅づくり
駅アクセスの改善と駅の活性化	①駐停車エリア、駐車場、駐輪場の整備および駅情報・運行情報等の発信
	②バスとの効果的な接続
	③駅前の特色あるイベントの開催
	④駅の空きスペースの活用
定期利用者の増加と新規利用者の開拓	①沿線立地企業等への粟生線通勤・通学利用のPR
	②小中学校等への粟生線利用の促進と支援
	③地域間の各イベントとの連携強化
	④沿線地域における観光資源の魅力的な活用
	⑤魅力的な車窓からの景観づくり
	⑥鉄道に関するイベントの開催
	⑦ホームページ等の広報により粟生線の魅力を発信
公共交通利用意識の向上	①企業や学校、転入者等に対するモビリティ・マネジメント等の実施
	②粟生線キャラクター等による活性化のPR
	③沿線自治体職員等による公共交通利用率先行動
安全で安定した鉄道輸送サービスの確保	①国庫補助制度も活用した鉄道施設の効果的な更新
	②利用者動向・ニーズに応じた輸送サービスへの改善
沿線住民と一体となった協力体制の構築	①沿線地域との協力体制の構築
	②無人駅のボランティア等による有人化
	③企画きつぷの販売や情報発信を行うフレンドショップ（販売拠点）の設置

これら粟生線の活性化実現のための事業の具体的な取り組みについて次に示す。

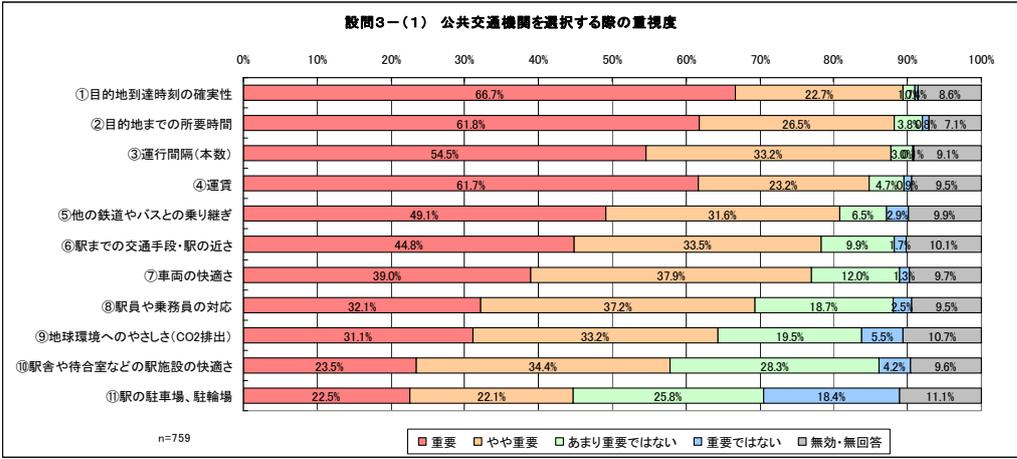
方針1 他交通機関に対する競争力の向上

計画の目標：輸送サービスの改善

事業	① 企画きっぷの充実と効果的なPR活動															
事業内容	沿線内外の施設との連携や地域特性を活かした、魅力ある企画きっぷのメニューの充実や新規企画の検討を図るとともに、さらなる利用促進のために効果的なPRを行う。															
事業計画 具体的な取り組み	<p><b>実施する事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 沿線内の施設と連携した企画きっぷ等の充実（方針3-④を含む） 沿線内の観光地や宿泊施設等と連携し、企画きっぷを作成し、フレンドショップや集客施設で販売する。</li> <li>○ 自治体広報誌や新聞折り込み等を活用し、沿線内外に効果的にPR（方針1-②を含む） 神戸電鉄では各種回数券および企画きっぷを発売しているが、これらの認知度を高めるため、自治体広報誌への掲載や新聞折り込み、利用促進パンフ等を活用したPRを行う。 また、ICカードの利用についてもわかりやすいPRを行い、PITAPA等のポイントサービスの内容の理解が深まるよう案内を行う。</li> <li>○ フレンドショップ等の販売拠点の充実（方針6-③を含む） 方針6-③で示すフレンドショップ設置など販売拠点を拡充する。</li> </ul>															
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="443 1126 975 1305"> <p>&lt;企画きっぷの一例&gt; 「粟生線 家族おでかけきっぷ」(11月1日～2月28日) 大人2人・小児1人(往復)セット券(2300円) (小野～三宮往復で1660円お得)</p> </div> <div data-bbox="995 1126 1447 1464"> <p><b>企画きっぷの販売は増加傾向</b></p> <table border="1"> <caption>主な企画切符の販売実績変化</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>枚</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18年度</td> <td>41,603</td> </tr> <tr> <td>H19年度</td> <td>48,597</td> </tr> <tr> <td>H20年度</td> <td>52,653</td> </tr> </tbody> </table> <p>資料：神戸電鉄</p> </div> </div>	年度	枚	H18年度	41,603	H19年度	48,597	H20年度	52,653							
	年度	枚														
H18年度	41,603															
H19年度	48,597															
H20年度	52,653															
<p><b>企画きっぷを知らない人が約9割</b></p> <p>Q4.1.1 企画きっぷやハイキングの認知度 (n=753)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>企画</th> <th>利用したことがある</th> <th>利用していないが知っている</th> <th>知らなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「日曜限定おでかけ4dayチケット」</td> <td>11.8%</td> <td>87.0%</td> <td>1.2%</td> </tr> <tr> <td>「三木平井山ぶどう狩りクーポン」</td> <td>11.2%</td> <td>87.3%</td> <td>1.5%</td> </tr> <tr> <td>神戸ハイキング</td> <td>19.8%</td> <td>78.1%</td> <td>1.1%</td> </tr> </tbody> </table>	企画	利用したことがある	利用していないが知っている	知らなかった	「日曜限定おでかけ4dayチケット」	11.8%	87.0%	1.2%	「三木平井山ぶどう狩りクーポン」	11.2%	87.3%	1.5%	神戸ハイキング	19.8%	78.1%	1.1%
企画	利用したことがある	利用していないが知っている	知らなかった													
「日曜限定おでかけ4dayチケット」	11.8%	87.0%	1.2%													
「三木平井山ぶどう狩りクーポン」	11.2%	87.3%	1.5%													
神戸ハイキング	19.8%	78.1%	1.1%													
<p><b>検討する事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 沿線のイベントと連携した企画きっぷの検討（参照 方針3-③） すでに粟生線周辺で開催されるイベントと連携した企画きっぷを検討する。</li> </ul>																
事業期間	平成22年度、23年度、24年度															
実行主体	神戸電鉄、神戸市、三木市、小野市															

事業	② 割引制度等の充実	
事業内容	潜在的な利用者層の掘り起こしのため、高齢者を対象とする割引制度の導入を検討する。また、その他の割引制度についても、利用促進効果や実施費用等を踏まえて実現可能性を検討する。	
事業計画	<b>実施する事業</b> ○ 自治体広報誌や新聞折り込み等を活用し、沿線内外に効果的にPR (参照 方針1-①) 神戸電鉄では各種回数券および企画きっぷを発売しているが、これらの認知度を高めるため、自治体広報誌への掲載や新聞折り込み、利用促進パンフ等を活用したPRを行う。また、ICカードの利用についてもわかりやすいPRを行う。	
	<b>検討する事業</b> ○ 新たな割引制度の検討 例) ・昼間時間帯割引 ・高齢者の方への平日昼間割引 ・地域内利用限定割引 ・家族利用促進のための制度 (エコファミリー制度のような：土・日・祝の同伴される小児の無料化) ・コミュニティバスとの連携乗車券 など	
	<b>具体的な取り組み</b>  <p>福岡市の例：福岡市 HP より</p>	 <p>神戸市の例：神戸市 HP より</p>
事業期間	平成22年度、23年度、24年度	
実行主体	神戸電鉄、神戸市、三木市、小野市	

事業	③ ダイヤの改善・運行本数見直し等の運行改善	
事業内容	利用実態に合わせた運行形態（ダイヤ、運行本数等）について検討し、現状の利便性、効率性の改善を図る。	
事業計画	<div data-bbox="422 427 619 465" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>検討する事業</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="422 517 1455 651">○ 昼間優等列車運行による速達性向上の検討        昼間時における優等列車の運行について検討する。        また、北条鉄道との接続や新開地駅での接続等、他の鉄道との接続改善について検討する。</li> <li data-bbox="422 678 1455 748">○ 短編成化等、輸送実態に応じた適正な運行形態の検討        費用対効果を検証のうえ短編成化の可能性を検討する。</li> </ul> <div data-bbox="568 763 1299 871" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>&lt;平成21年3月20日実施の粟生線ダイヤ改正概要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝、夕のラッシュ時間帯に快速を導入            （新開地～粟生間で朝は約8分、夕は約3分の時間短縮）</li> </ul> </div> <div data-bbox="491 907 1375 996" style="text-align: center;"> <p><b>Shintetsu 鉄道のご案内</b>  <i>Railway Information</i></p>  </div> <p data-bbox="497 1016 1050 1037" style="font-size: small;">神戸電鉄&gt;鉄道のご案内&gt;粟生線活性化の取り組み&gt;ダイヤ改正を実施します</p> <p data-bbox="1238 1016 1359 1037" style="text-align: right; font-size: small;">▶ サイトマップ</p> <p data-bbox="497 1104 858 1155" style="text-align: center; color: blue;">☆平成21年 3月20日(金・祝)      ダイヤ改正を実施します</p> <p data-bbox="513 1205 1337 1267" style="font-size: x-small;">神戸電鉄では、3月20日(金・祝)初発よりダイヤ改正を実施いたします。      今回のダイヤ改正では、朝・夕ラッシュ時間帯において粟生線に快速列車の新設と三田線道場南口始発列車の増発を実施し、輸送力の増強を図るとともに、より利便が高く輸送効率の良いダイヤを編成し運行いたします。</p> <div data-bbox="459 1290 1426 1330" style="border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 2px; text-align: center;"> <p>粟生線の利用は朝および夕方以降に集中し、昼間時の利用は少ない</p> </div> <div data-bbox="440 1357 1445 1890" style="text-align: center;"> <p>粟生線(鈴蘭台西口～粟生)平日時間帯別降車人員        &lt;2009/5/12(火)&gt;</p> <p style="text-align: right; font-size: x-small;">資料: 神戸電鉄</p> </div>	
	事業期間	平成22年度、23年度、24年度
	実行主体	神戸電鉄

事業	④ 接客サービスの向上
事業内容	継続的な社員教育の実施により、利用者に満足いただける接客サービスの向上を図る。
事業計画	<p><b>実施する事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 利用満足度を高めるための社員教育の実施 CSをテーマにした集合教育や、接客・接客対応の個別フォローアップ教育を実施する。</li> <li>○ ご利用・ご乗車マナーの向上啓発（方針6-①を含む） 利用者参加による駅をご利用やご乗車の際のマナー向上を啓発する活動を拡充する。（取り組み事例）「グッドマナーキャンペーン」 また、沿線高校生よりマナー啓発ポスター、放送を募集し、優秀作品を駅・社内に掲示。放送は主要駅で放送する。</li> </ul>  <p>乗車マナー向上への取り組み      みんなの乗車マナー      乗車マナー川柳</p> <p>JR 北海道の例</p>
	<p><b>検討する事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 快適な車内環境の創出（音楽等）の検討 車内における音楽放送やハーブ設置など、快適な車内環境の創出についてその是非や可能性について検討する。</li> </ul>
	<p>速達性等に加え、車両の快適さを重視するという意見も多い。</p>  <p>設問3-(1) 公共交通機関を選択する際の重視度</p> <p>n=759</p> <p>■ 重要 ■ やや重要 ■ あまり重要ではない ■ 重要ではない ■ 無効・無回答</p>
事業期間	平成22年度、23年度、24年度
実行主体	神戸電鉄

事業	⑤ 利用しやすい駅・快適な駅づくり
事業内容	案内施設の整備など駅施設の改善により、安心して利用しやすい駅づくりに努める。
事業計画	<p><b>実施する事業</b></p> <p>○ 夜間照明の増設等駅施設の改善        例) ・改札口付近への時計の設置        ・案内施設の充実 (駅周辺の案内板設置等)        ・夜間照明の充実 など</p>
	<p><b>検討する事業</b></p> <p>○ 車両における座席や空調の改良等、快適性向上の検討        車内における座席の工夫や空調の改良による快適性の向上策を検討する。</p>
	<p>具体的な取り組み</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="427 788 880 1124"> <p>トイレの整備 (恵比須駅)</p> </div> <div data-bbox="906 788 1359 1124"> <p>スロープの整備 (三木駅)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="427 1182 880 1518"> <p>時計の整備 (木津駅)</p> </div> <div data-bbox="1059 1317 1442 1845"> <p>くらしに安全と安心を</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> </div>
事業期間	平成 22 年度、23 年度、24 年度
実行主体	神戸電鉄

方針2 駅勢圏（駅の集客範囲）の拡大

計画の目標：駅アクセスの改善と駅の活性化

事業	① 駅停車エリア、駐車場、駐輪場の整備および駅情報・運行情報等の発信																				
事業内容	パーク&ライド、キス&ライド、サイクル&ライドの促進を図るとともに、栗生線沿線駅における駐輪施設の改善、バスとの効果的な接続など、交通端末手段とのアクセス性の向上を図る。																				
事業計画	<p>具体的な取り組み</p> <p><b>実施する事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ キス&amp;ライド（送迎）用駐停車スペースの確保 既存の施設を有効活用し、送迎のスペースを確保する。 ・候補駅：三木駅、広野ゴルフ場前駅、市場駅</li> <li>○ パーク&amp;ライド用駅前駐車場の整備 自動車と鉄道の乗り継ぎ利便性を向上し、自動車からの転換を目的に、時間貸しのパーク&amp;ライド駐車場を整備する。 また、駅周辺商業施設と連携したパーク&amp;ライド駐車場を検討する。 ・候補駅：小野駅、三木駅、緑が丘駅</li> <li>○ 駐輪施設の改善・整備 駐輪場の利用快適性向上のため、ラック整備や屋根整備を行う。 ・候補駅9駅</li> <li>○ 到着時刻の表示された神鉄運行時刻表の作成 バス等との連絡をしやすいするため、到着時刻の分かる時刻表を作成する。</li> <li>○ 駐車場・駐輪場等の駅周辺施設案内板の整備 利便性や快適性向上のため、トイレや商業施設、駐車場やバス停等が分かるようにした駅施設案内板を整備する。</li> <li>○ インターネット等を使用した乗り継ぎ情報等提供サービス 駅ナビ等インターネットを使用し、バスの乗り継ぎ情報等の情報提供を行う。</li> </ul> <p>高校生では駐輪場を便利にするニーズが高い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>設問7-(1) (テーマ2) 駅へのアクセス</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 列車の発着時刻とバスの発着時刻を合わせる</td> <td>18.5%</td> </tr> <tr> <td>② 駅前駐輪場を便利にする</td> <td>17.1%</td> </tr> <tr> <td>③ 駅からのバス路線の充実</td> <td>2.7%</td> </tr> <tr> <td>④ 駅前駐車場を便利にする</td> <td>14.9%</td> </tr> <tr> <td>⑤ 駅への自家用車の送迎を便利にする</td> <td>12.0%</td> </tr> <tr> <td>⑥ 駅最寄りのバス停をもっと近くにする</td> <td>10.4%</td> </tr> <tr> <td>⑦ 駅前レンタサイクルの整備</td> <td>7.2%</td> </tr> <tr> <td>⑧ その他</td> <td>1.1%</td> </tr> <tr> <td>無効・無回答</td> <td>16.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">n=1,847 複数回答</p> </div>	項目	割合	① 列車の発着時刻とバスの発着時刻を合わせる	18.5%	② 駅前駐輪場を便利にする	17.1%	③ 駅からのバス路線の充実	2.7%	④ 駅前駐車場を便利にする	14.9%	⑤ 駅への自家用車の送迎を便利にする	12.0%	⑥ 駅最寄りのバス停をもっと近くにする	10.4%	⑦ 駅前レンタサイクルの整備	7.2%	⑧ その他	1.1%	無効・無回答	16.1%
項目	割合																				
① 列車の発着時刻とバスの発着時刻を合わせる	18.5%																				
② 駅前駐輪場を便利にする	17.1%																				
③ 駅からのバス路線の充実	2.7%																				
④ 駅前駐車場を便利にする	14.9%																				
⑤ 駅への自家用車の送迎を便利にする	12.0%																				
⑥ 駅最寄りのバス停をもっと近くにする	10.4%																				
⑦ 駅前レンタサイクルの整備	7.2%																				
⑧ その他	1.1%																				
無効・無回答	16.1%																				

小野駅周辺 P & R 駐車場整備計画



事業計画

具体的な  
取り組み



- キス&ライド用スペース確保 (3 駅)
- パーク&ライド用駐車場整備 (3 駅)

事業期間 平成 22 年度、23 年度、24 年度

実行主体 神戸市、三木市、小野市、神戸電鉄

事業	② バスと効果的な接続	
事業内容	<p>駅情報、バスおよび列車の運行情報、駐車場情報、自転車・バイクの駐輪情報などを継続して発信することにより、誰もが使いやすい駅にする。</p>	
事業計画	<p><b>実施する事業</b></p> <p>○ 駅でのバス停案内およびバス時刻表の掲示</p> <p>鉄道とバスの乗り継ぎをしやすいように、駅でのバス停案内や時刻表の掲示を行う。</p> <p><b>関東バス・電車乗り継ぎマップ</b></p> <p>南北方向の移動は関東バスが早くて便利です！</p> <p>○ およその所要時間 (渋滞の際など遅れる場合もございます)</p> <p>線の太さにより運行頻度が異なります    ■ おおむね6～8分間隔以下    ■ おおむね10～12分間隔    ■ おおむね15分間隔前後    ■ おおむね20分間隔以上</p> <p>運行間隔はあくまで目安です。また他社との協定路線については他社便を含む間隔です。</p> <p>この地図は乗り換えルートをわかりやすくするために一部省略をして表記しております。また、走行経路・位置関係等が表記されているものと実際で異なっている箇所がございますのであらかじめご了承ください。なお、一部のバス停と駅については徒歩(5分程度)での連絡となりますのでご了承ください。(当社総合路線案内図とあわせてご利用下さいませとより便利です。)</p> <p>この地図に関するお問い合わせは…    運輸部(営業担当) 03-3371-7116 まで 平成22年2月1日現在</p> <p>あなたの笑顔を選びたい  <b>関東バス株式会社</b></p> <p>鉄道・バス乗り継ぎマップの例</p> <p><b>検討する事業</b></p> <p>○ 電車到着時刻と整合を図るバスのダイヤの検討</p> <p>鉄道とバスの連絡を強化するため、鉄道と連動したダイヤを検討する。</p> <p>○ 駅へのアクセスバスの検討</p> <p>駅と住宅地や工場を連絡するアクセスバスの導入可能性を検討する。    また、新たな駅前バス停設置の可能性を検討する。</p>	
	事業期間	平成22年度、23年度、24年度
	実行主体	神戸市、三木市、小野市、神戸電鉄

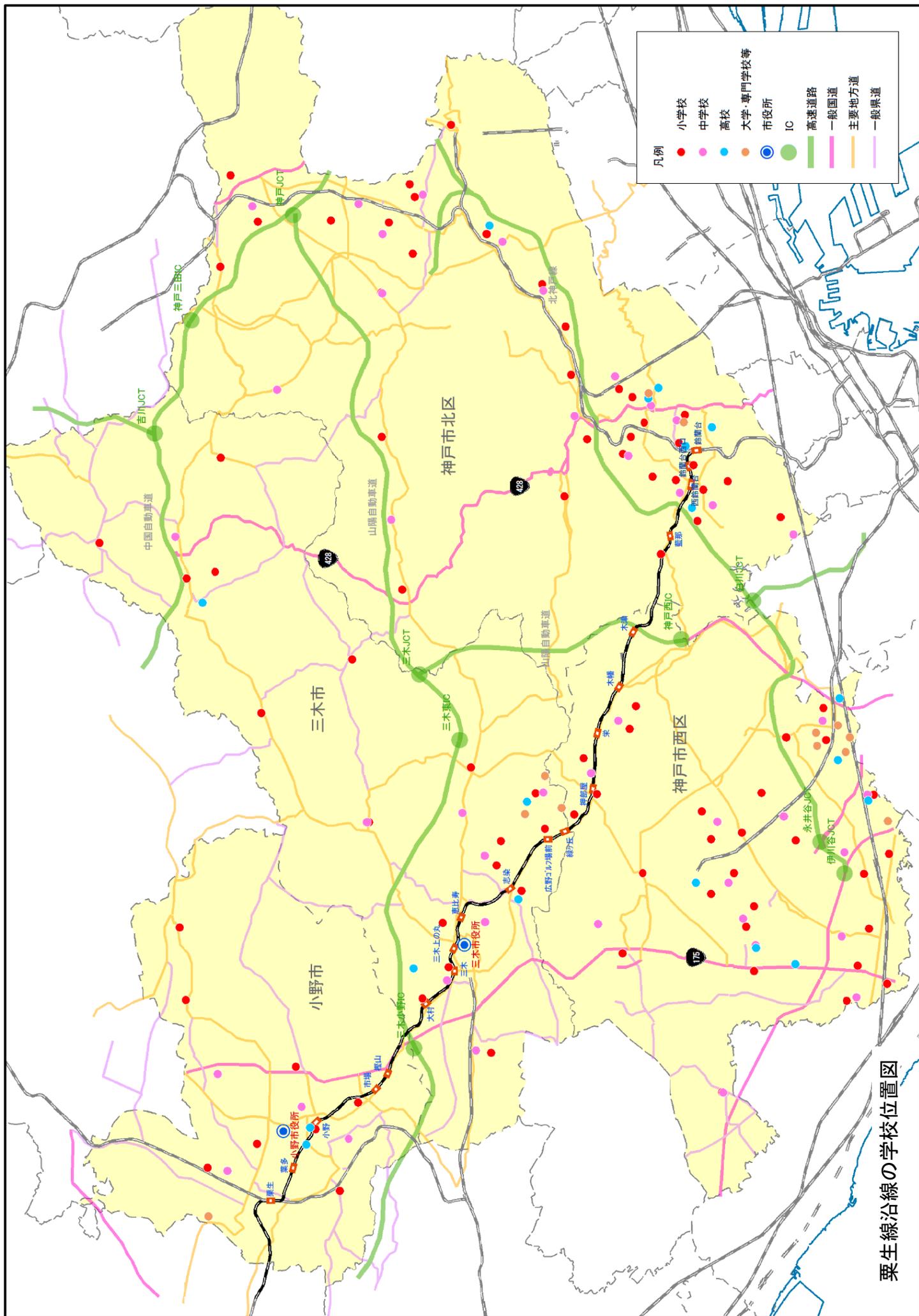
<b>事業</b>		<b>③ 駅前の特色あるイベントの開催</b>
<b>事業内容</b>		駅前における特色あるイベントの開催により、駅の活性化と鉄道の利用促進を図る。
<b>事業計画</b>	<b>具体的な取り組み</b>	<b>実施する事業</b> ○ 既存の駅前イベントのPR（参照 方針3-③） 駅前で開催されているイベントについて神鉄沿線にPRする。また、イベントの情報発信とあわせて粟生線の利用が便利でお得なことをPRする。 例）・恵比須駅の朝市
		<b>検討する事業</b> ○ 駅前イベントの新たな企画の検討 例）・櫛山駅
		 いわき駅前のイベント例
		 つくば市研究学園駅前のイベント例
		 しがらき駅前のイベント例
	<b>事業期間</b>	平成22年度、23年度、24年度
	<b>実行主体</b>	神戸市、三木市、小野市、神戸電鉄

<b>事業</b>		<b>④ 駅の空きスペースの活用</b>	
<b>事業内容</b>		駅の空きスペースを活用し、駅の賑わいを創出する活性化策を展開する。	
<b>事業計画</b>	<b>具体的な取り組み</b>	<b>実施する事業</b> ○ 駅の空きスペースを活かした活性化策の展開（観光案内所等）（参照 方針6-②） 駅の空きスペースを有効活用し、駅の賑わいを創出する施設等の設置を行う。	
		<b>事業期間</b>	平成22年度、23年度、24年度
		<b>実行主体</b>	神戸市、三木市、小野市、神戸電鉄

**方針 3** 定期利用者と交流人口の拡大

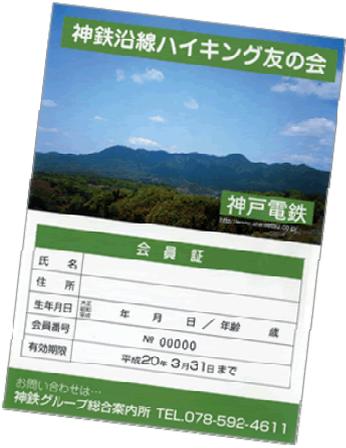
計画の目標：定期利用者の増加と新規利用者の開拓

<b>事業</b>		<b>① 沿線立地企業等への粟生線通勤・通学利用のPR</b>
<b>事業内容</b>		沿線に立地する企業等へ積極的な粟生線の通勤・通学利用を働きかけ、鉄道利用を促進する。 ※モビリティ・マネジメントに関連する事項は後述（方針 4-①）
<b>事業計画</b>	<b>具体的な取り組み</b>	<p><b>実施する事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 携帯時刻表の作成・配布によるPR（参照 方針 4-①） 携帯できる時刻表を作成し配布する。また、現在ホームページでアップされている時刻表のPRを行う。</li> <li>○ 駅とのアクセス交通の支援（参照 方針 4-①） 定期券利用者にモニター制で自転車を貸し出す実証実験を行う。 例）・木津駅</li> </ul> <p><b>検討する事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各種定期券設定の検討 新たな定期券の設定の可能性について検討する。</li> </ul>
	<b>事業期間</b>	平成 22 年度、23 年度、24 年度
	<b>実行主体</b>	神戸市、三木市、小野市、神戸電鉄



奥州湾沿線の学校位置図

事業	② 小中学校等への粟生線利用の促進と支援																																																																	
事業内容	小学校、中学校等の教育機関に対して、校外学習や社会見学等での粟生線利用の促進が図れるよう、働きかけおよび利用時のサポート等を行う。																																																																	
事業計画	<p><b>実施する事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小中学生の校外学習等の企画・実施サポート 校外学習や社会見学などの際に、粟生線を利用してもらうよう学校に働きかける。</li> <li>○ 小学生、園児を対象とした乗り方教室、体験乗車等の実施（方針 4-①を含む） 小学生や園児を対象とした、鉄道の乗り方教室や体験乗車等を実施する。</li> <li>○ ギャラリートレイン等の拡充 車内に小中学生や園児の作成した絵画や作品を出展し、父兄などに見学してもらう。また、高校生にデザインしてもらったギャラリートレインを運行する。さらに、ギャラリー列車の運行状況を情報提供する。</li> </ul> <p>郊外学習としての粟生線の利用意向は「こうべ環境未来館」や「広域防災センター」等で高い</p>																																																																	
	<p>図表 4-（1）-b 神戸電鉄粟生線を利用した校外学習先としての利用意向</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>利用したい</th> <th>条件次第で利用したい</th> <th>利用しない</th> <th>無効・無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>こうべ環境未来館</td><td>11.5%</td><td>39.0%</td><td>42.9%</td><td>6.6%</td></tr> <tr><td>兵庫県広域防災センター</td><td>3.8%</td><td>37.9%</td><td>51.1%</td><td>7.1%</td></tr> <tr><td>兵庫県立人と自然の博物館</td><td>12.6%</td><td>28.0%</td><td>52.7%</td><td>6.6%</td></tr> <tr><td>兵庫県立三木山森林公園</td><td>9.3%</td><td>27.5%</td><td>57.1%</td><td>6.0%</td></tr> <tr><td>エーディフェンス</td><td>3.8%</td><td>32.4%</td><td>55.5%</td><td>8.2%</td></tr> <tr><td>神戸電鉄鈴蘭台車両工場</td><td>5.5%</td><td>28.6%</td><td>56.0%</td><td>9.9%</td></tr> <tr><td>三木市立金物資料館</td><td>4.9%</td><td>18.7%</td><td>67.6%</td><td>8.8%</td></tr> <tr><td>共進牧場</td><td>3.3%</td><td>19.8%</td><td>70.3%</td><td>6.6%</td></tr> <tr><td>小野市伝統産業会館</td><td>6%</td><td>17.0%</td><td>70.9%</td><td>10.4%</td></tr> <tr><td>三木ホースランドパーク</td><td>3.3%</td><td>14.3%</td><td>74.2%</td><td>8.2%</td></tr> <tr><td>ひまわりの丘公園</td><td>2.2%</td><td>13.7%</td><td>77.5%</td><td>6.6%</td></tr> <tr><td>好古館</td><td>2.7%</td><td>10.4%</td><td>78.0%</td><td>8.8%</td></tr> </tbody> </table> <p>n=182</p>	施設名	利用したい	条件次第で利用したい	利用しない	無効・無回答	こうべ環境未来館	11.5%	39.0%	42.9%	6.6%	兵庫県広域防災センター	3.8%	37.9%	51.1%	7.1%	兵庫県立人と自然の博物館	12.6%	28.0%	52.7%	6.6%	兵庫県立三木山森林公園	9.3%	27.5%	57.1%	6.0%	エーディフェンス	3.8%	32.4%	55.5%	8.2%	神戸電鉄鈴蘭台車両工場	5.5%	28.6%	56.0%	9.9%	三木市立金物資料館	4.9%	18.7%	67.6%	8.8%	共進牧場	3.3%	19.8%	70.3%	6.6%	小野市伝統産業会館	6%	17.0%	70.9%	10.4%	三木ホースランドパーク	3.3%	14.3%	74.2%	8.2%	ひまわりの丘公園	2.2%	13.7%	77.5%	6.6%	好古館	2.7%	10.4%	78.0%	8.8%
	施設名	利用したい	条件次第で利用したい	利用しない	無効・無回答																																																													
こうべ環境未来館	11.5%	39.0%	42.9%	6.6%																																																														
兵庫県広域防災センター	3.8%	37.9%	51.1%	7.1%																																																														
兵庫県立人と自然の博物館	12.6%	28.0%	52.7%	6.6%																																																														
兵庫県立三木山森林公園	9.3%	27.5%	57.1%	6.0%																																																														
エーディフェンス	3.8%	32.4%	55.5%	8.2%																																																														
神戸電鉄鈴蘭台車両工場	5.5%	28.6%	56.0%	9.9%																																																														
三木市立金物資料館	4.9%	18.7%	67.6%	8.8%																																																														
共進牧場	3.3%	19.8%	70.3%	6.6%																																																														
小野市伝統産業会館	6%	17.0%	70.9%	10.4%																																																														
三木ホースランドパーク	3.3%	14.3%	74.2%	8.2%																																																														
ひまわりの丘公園	2.2%	13.7%	77.5%	6.6%																																																														
好古館	2.7%	10.4%	78.0%	8.8%																																																														
<p>学校教育の例（茨城県） （茨城県公共交通活性化会議HPより）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>イチゴ学習</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>田植え学習</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>稲刈り学習</p> </div> </div> <p>体験学習の様子</p>																																																																		
事業期間	平成 22 年度、23 年度、24 年度																																																																	
実行主体	神戸市、三木市、小野市、神戸電鉄																																																																	

事業	③ 地域間の各イベントとの連携強化
事業内容	沿線地域で開催される各イベントの地域間の連携を強化する。
事業計画	<p><b>実施する事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 駅からイベント開催地への誘導 三木金物祭り等駅にイベント開催地までの案内看板を設置する等、鉄道とイベントの連携を強化する。</li> <li>○ 既存の駅前イベントのPR（方針2-③を含む） 駅前で実施されているイベントについて神鉄沿線にPRする。また、イベントの情報発信とあわせて粟生線の利用が便利でお得なことをPRする。 例）・恵比須駅の朝市</li> <li>○ 神鉄ハイキングのPR拡大 神鉄が実施しているハイキングのPRを沿線内外に拡大する。</li> <li>○ 加古川線等利用促進・沿線地域活性化協議会イベントとの共催 加古川線等利用促進・沿線地域活性化協議会で開催しているイベントと共催する。</li> </ul> <p><b>検討する事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ スポーツイベントとの連携 粟生線周辺で開催されるスポーツイベント（ゴルフ等）と連携し、割引乗車券などを企画する。</li> <li>○ 粟生線を利用してイベントに参加した方への特典付与の検討 すでに粟生線周辺で開催されるイベントと連携し、粟生線利用者に特典について、その内容・方法を検討する。</li> <li>○ 沿線のイベントと連携した企画きっぷの検討（方針1-①を含む） すでに粟生線周辺で開催されるイベントと連携した企画きっぷを検討する。</li> </ul> <div data-bbox="493 1328 919 1429" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>平成20年度 神鉄ハイキング参加状況 137回 24,190人</p> </div> <div data-bbox="549 1435 895 1883" style="margin: 10px 0;">  </div> <div data-bbox="1002 1328 1390 1872" style="margin: 10px 0;">  </div>
	事業期間
実行主体	神戸市、三木市、小野市、神戸電鉄

事業	④ 沿線地域における観光資源の魅力的な活用																																							
事業内容	沿線地域における観光資源の発掘、魅力の向上やPRにより交流人口を増加させ、粟生線沿線以外からの利用促進に繋げていく。																																							
事業計画	<p><b>実施する事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 観光マップの駅等での配布 すでに作成されている観光マップを駅等で配布し、観光客の増加を促進する。</li> <li>○ 認知されていない観光資源の活用 認知されていない観光資源を発掘しPRすることで、新たな観光需要を掘り起こす。発掘にはボランティアや学生の協力を仰ぐ。</li> <li>○ 沿線内の施設と連携した企画きっぷ等の充実（参照 方針1-①） 沿線内の観光地や宿泊施設等と連携し、企画きっぷを作成し、フレンドショップや集客施設で販売する。</li> </ul>																																							
	<p>新しい観光スポットへのニーズが多い</p>																																							
	<p><b>Q4.3 観光やレジャーでの粟生線利用者増加を目指す各種取組みについて重視順位</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>取組み</th> <th>1位 (%)</th> <th>2位 (%)</th> <th>3位 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>話題となる新しい観光スポットの創出</td> <td>62.6%</td> <td>21.1%</td> <td>16.3%</td> </tr> <tr> <td>観光施設とタイアップした割安企画きっぷの充実</td> <td>35.4%</td> <td>37.4%</td> <td>27.2%</td> </tr> <tr> <td>駅から観光スポットを回る移動手段の整備</td> <td>32.0%</td> <td>30.8%</td> <td>37.1%</td> </tr> <tr> <td>ミステリートレイン、お座敷列車等のイベント列車の運行</td> <td>30.8%</td> <td>40.4%</td> <td>28.8%</td> </tr> <tr> <td>周辺の自治体・鉄道事業者と協力した沿線外へのPR</td> <td>28.7%</td> <td>33.6%</td> <td>37.7%</td> </tr> <tr> <td>観光スポットを繋ぐ観光ルートやツアーの設定</td> <td>22.4%</td> <td>45.5%</td> <td>32.1%</td> </tr> <tr> <td>イベント・セミナー・ハイキング等とタイアップしたツアーの実施</td> <td>14.3%</td> <td>40.4%</td> <td>45.3%</td> </tr> <tr> <td>沿線地域間の交流イベント実施</td> <td>13.9%</td> <td>23.6%</td> <td>62.5%</td> </tr> <tr> <td>観光施設共通のポイントサービスやスタンプラリーの実施</td> <td>7.8%</td> <td>27.0%</td> <td>65.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>n=753</p>	取組み	1位 (%)	2位 (%)	3位 (%)	話題となる新しい観光スポットの創出	62.6%	21.1%	16.3%	観光施設とタイアップした割安企画きっぷの充実	35.4%	37.4%	27.2%	駅から観光スポットを回る移動手段の整備	32.0%	30.8%	37.1%	ミステリートレイン、お座敷列車等のイベント列車の運行	30.8%	40.4%	28.8%	周辺の自治体・鉄道事業者と協力した沿線外へのPR	28.7%	33.6%	37.7%	観光スポットを繋ぐ観光ルートやツアーの設定	22.4%	45.5%	32.1%	イベント・セミナー・ハイキング等とタイアップしたツアーの実施	14.3%	40.4%	45.3%	沿線地域間の交流イベント実施	13.9%	23.6%	62.5%	観光施設共通のポイントサービスやスタンプラリーの実施	7.8%	27.0%
取組み	1位 (%)	2位 (%)	3位 (%)																																					
話題となる新しい観光スポットの創出	62.6%	21.1%	16.3%																																					
観光施設とタイアップした割安企画きっぷの充実	35.4%	37.4%	27.2%																																					
駅から観光スポットを回る移動手段の整備	32.0%	30.8%	37.1%																																					
ミステリートレイン、お座敷列車等のイベント列車の運行	30.8%	40.4%	28.8%																																					
周辺の自治体・鉄道事業者と協力した沿線外へのPR	28.7%	33.6%	37.7%																																					
観光スポットを繋ぐ観光ルートやツアーの設定	22.4%	45.5%	32.1%																																					
イベント・セミナー・ハイキング等とタイアップしたツアーの実施	14.3%	40.4%	45.3%																																					
沿線地域間の交流イベント実施	13.9%	23.6%	62.5%																																					
観光施設共通のポイントサービスやスタンプラリーの実施	7.8%	27.0%	65.2%																																					
事業期間	平成22年度、23年度、24年度																																							
実行主体	神戸市、三木市、小野市、神戸電鉄																																							

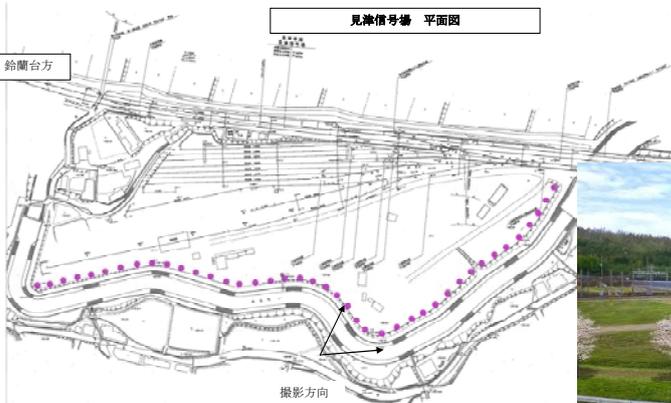
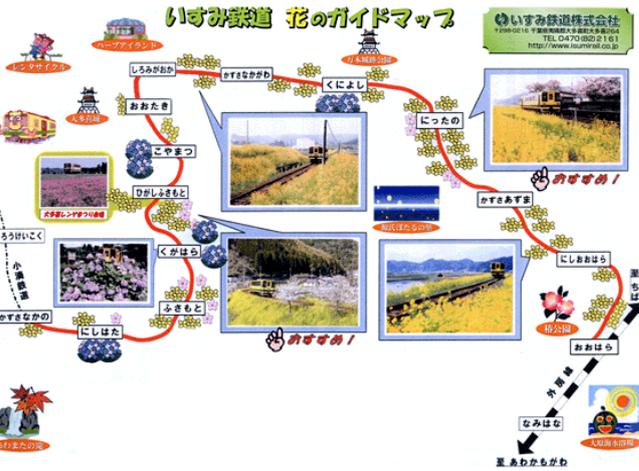
具体的な  
取り組み

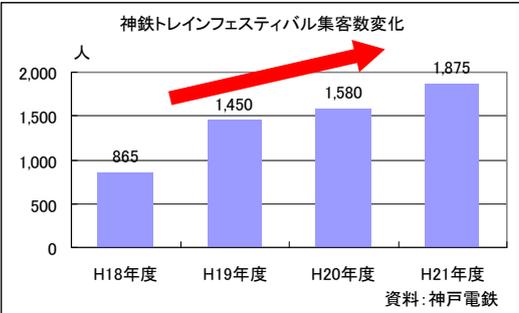


三木山森林公園  
(三木山森林公園HPより)



神戸ワイン工場  
(神戸ワイン工場園HPより)

事業	⑤ 魅力的な車窓からの景観づくり	
事業内容	花をテーマにした快適で魅力的な車窓からの景観づくり（フラワーライン計画）に努め、粟生線のイメージ向上と、景観スポットでの地域交流等による鉄道利用の促進を検討する。	
事業計画	<p><b>実施する事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 沿線に植樹・植栽等を実施 見津信号場（木津～木幡駅間）周辺に桜並木を造営（桜 45 本を植樹、延長約 500 m）</li> <li>○ 車窓からのフォトコンテストの実施 車窓からの景観を題材としたフォトコンテストを実施する。</li> </ul> <p>粟生線フラワーライン計画</p>     <p>※左：いすみ鉄道の「菜の花めぐりキャンペーン」のチラシ 右：いすみ鉄道 HP より</p>	
	事業期間	平成 22 年度、23 年度、24 年度
	実行主体	神戸市、三木市、小野市、神戸電鉄

事業	⑥ 鉄道に関するイベントの開催										
事業内容	粟生線沿線や鉄道の魅力を発信するイベントを開催し、沿線地域内・外間の鉄道利用の促進を図る。										
事業計画 具体的な 取り組み	<p><b>実施する事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 神鉄トレインフェスティバルの拡大実施 神鉄トレインフェスティバルは経年で開催されており、その利用者も増加傾向にあることから、継続するとともに、実施の季節や場所を拡大実施していく。また、三木市、小野市方面へのPRを強化する。</li> <li>○ ミステリートレインの拡大実施 ミステリートレインを拡大して実施し、沿線内外にPRしていく。</li> <li>○ 沿線の魅力を発信するラッピング列車の運行（方針4-②を含む） 地域の愛着創出や観光振興、個性を発揮するラッピング電車を運行し、イベント列車等に活用する。</li> <li>○ 沿線の特徴を活かしたイベント列車の運行（方針4-②を含む） お座敷列車や特産品を販売する等の目玉となるイベント列車を企画し運行する。</li> </ul> <p><b>検討する事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ サイクルトレインの検討 乗客が少ない時間帯や休日における自転車の車内乗り込みが可能なサイクルトレインの実施可能性を検討する。</li> </ul>										
	<p style="text-align: center;"><b>イベント参加者は増加傾向</b></p>  <table border="1"> <caption>神鉄トレインフェスティバル集客数変化</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>集客数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18年度</td> <td>865</td> </tr> <tr> <td>H19年度</td> <td>1,450</td> </tr> <tr> <td>H20年度</td> <td>1,580</td> </tr> <tr> <td>H21年度</td> <td>1,875</td> </tr> </tbody> </table> <p>資料：神戸電鉄</p>  <p>サイクルトレインの例 (近江鉄道HPより)</p>   <p>サイクルトレインの例 (秩父観光ナビHPより)</p>  <p>近江鉄道路線図 サイクルトレインのご案内</p> <p>● 自転車持込可能駅 ● 自転車持込不可</p> <p>多賀大社前スクリーン</p> <p>米原、山崎、彦根、びわ湖、彦根口、高宮、尼子、桑郷、桑知川、河辺の路、八日市、八日市、新八日市、本郷駅前、市辺、平田、武佐、近江八幡</p>	年度	集客数(人)	H18年度	865	H19年度	1,450	H20年度	1,580	H21年度	1,875
	年度	集客数(人)									
H18年度	865										
H19年度	1,450										
H20年度	1,580										
H21年度	1,875										
<p>事業期間 平成22年度、23年度、24年度</p> <p>実行主体 神戸電鉄</p>											

事業	⑦ ホームページ等の広報により粟生線の魅力を発信															
事業内容	イベントの実施やホームページ等による広報を通じて、粟生線の魅力を発信していく。															
事業計画 具体的な取り組み	<p><b>実施する事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ おでかけガイドの充実 現在のお出かけガイドを充実し、配布場所を拡大する。</li> <li>○ 神戸電鉄粟生線活性化協議会ホームページの沿線情報、イベント情報、観光資源情報等の充実 現在の活性化ホームページに様々な情報を掲載し、充実させることで、粟生線の魅力を発信する。 <a href="http://www.shintetsu.co.jp/aosen_kasseika/">http://www.shintetsu.co.jp/aosen_kasseika/</a></li> </ul>															
	<p>情報源はインターネットやガイドブックが多い</p>															
	<p>Q2_5 観光やレジャーで出かける際の情報源</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>情報源</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インターネット</td> <td>616</td> </tr> <tr> <td>旅行・レジャー雑誌、ガイドブック</td> <td>426</td> </tr> <tr> <td>新聞・テレビ</td> <td>245</td> </tr> <tr> <td>ロコミ</td> <td>199</td> </tr> <tr> <td>自治体広報誌・鉄道会社の情報誌</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>旅行会社</td> <td>72</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>26</td> </tr> </tbody> </table> <p>n=753</p>	情報源	件数	インターネット	616	旅行・レジャー雑誌、ガイドブック	426	新聞・テレビ	245	ロコミ	199	自治体広報誌・鉄道会社の情報誌	120	旅行会社	72	その他
情報源	件数															
インターネット	616															
旅行・レジャー雑誌、ガイドブック	426															
新聞・テレビ	245															
ロコミ	199															
自治体広報誌・鉄道会社の情報誌	120															
旅行会社	72															
その他	26															
事業期間	平成 22 年度、23 年度、24 年度															
実行主体	神戸市、三木市、小野市、神戸電鉄															

方針4 公共交通優先利用行動の喚起

計画の目標：公共交通利用意識の向上

事業	① 企業や学校、転入者等に対するモビリティ・マネジメント等の実施																						
事業内容	沿線に立地する企業および学校、転入者等に対して公共交通の利用意識を向上するためにモビリティ・マネジメントを実施し、自発的な粟生線の優先利用行動を喚起する。																						
事業計画	<p><b>実施する事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 沿線企業等に対するエコ通勤への協力要請（方針3-①を含む） 沿線企業に対し、TFP（トラベルフィードバックプログラム）等を実施する等エコ通勤を促進する。 TFPとは「トラベル・フィードバック・プログラム」の略で、習慣的になっている過度なマイカーの利用を見直し、コミュニケーションを通じながら、「かしこいクルマの使い方」を考え、実践していくプログラム）</li> <li>○ 小学生、園児を対象とした乗り方教室、体験乗車等の実施（参照 方針3-②） 小学生、園児を対象に、少子高齢化や環境問題等から公共交通の必要性を説明したプログラムを作成し、ボランティア等により出張教育を開催する。</li> <li>○ 転入者に対する公共交通利用案内マップの配布 転入者に対し、交通手段を固定してしまう前に、おでかけガイドや時刻表を、住民課等の窓口で配布する。</li> <li>○ 携帯時刻表の作成・配布によるPR（方針3-①を含む） 携帯できる時刻表を作成し配布する。また、現在ホームページでアップされている時刻表のPRを行う。</li> <li>○ 公共交通の利用動機付けパンフレットの作成と配布 ダイエットや地球環境などインセンティブを明確にした、公共交通利用促進パンフレットを作成し、住民に配布す</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div data-bbox="451 1444 738 1848"> <p>平成19年3月31日改正 新開地駅発 時刻表（平日）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>三田方面</th> <th>時刻</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>12 28 42 57</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>9 12 24 29 33</td> </tr> <tr> <td></td> <td>42 49 55</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>2 8 15 17 25 31</td> </tr> <tr> <td></td> <td>36 43 46 48 51</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6 14 16 19 21 25</td> </tr> <tr> <td></td> <td>27 37 42 52 54</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>2 6 11 18 24 26</td> </tr> <tr> <td></td> <td>30 33 40 50 56</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>8 11 26 41 45 56</td> </tr> </tbody> </table> <p>携帯端末用時刻表</p> </div> <div data-bbox="798 1355 1452 1971"> <p><b>モビリティ・マネジメント</b> (行動の自発的変化を導くコミュニケーションとそれをサポートする運用施策)</p> <p>自動車から公共交通や徒歩・自転車への自発的な行動変化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通の需要の確保 公共交通モビリティの確保 過疎地域の活性化 地域風土の保全 【運輸/地方行政問題】</li> <li>自動車需要の削減 道路混雑の緩和 環境問題の緩和 【道路行政問題】</li> <li>活動場所/居住地選択の変化 効率的都市の形成 中心市街地の活性化 歴史的景観の保全 【都市行政問題】</li> </ul> <p>豊かな社会の実現</p> <p>資料：JCOMM HP より</p> <p><b>「エコ通勤」のイメージ</b></p> <p>実施前 (主にマイカー通勤者を対象)</p> <p>実施後</p> <p>「エコ通勤」のイメージ：事業所主体の取り組み、行政</p> </div> </div>	三田方面	時刻	5	12 28 42 57	6	9 12 24 29 33		42 49 55	7	2 8 15 17 25 31		36 43 46 48 51	8	6 14 16 19 21 25		27 37 42 52 54	9	2 6 11 18 24 26		30 33 40 50 56	10	8 11 26 41 45 56
	三田方面	時刻																					
5	12 28 42 57																						
6	9 12 24 29 33																						
	42 49 55																						
7	2 8 15 17 25 31																						
	36 43 46 48 51																						
8	6 14 16 19 21 25																						
	27 37 42 52 54																						
9	2 6 11 18 24 26																						
	30 33 40 50 56																						
10	8 11 26 41 45 56																						
事業期間	平成22年度、23年度、24年度																						
実行主体	神戸市、三木市、小野市、神戸電鉄																						

<b>事業</b>		<b>② 粟生線キャラクター等による活性化のPR</b>
<b>事業内容</b>		粟生線が地域にとって身近な存在で、持続して親しまれていくよう、粟生線のキャラクターやロゴマーク、ラッピング電車等により、活性化をPRする。
<b>事業計画</b>	<b>具体的な取り組み</b>	<p><b>実施する事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 粟生線キャラクターの活用したPR 小野高校生と小野東小学校生の協力により提案されたキャラクターを粟生線活性化策のPRにあたりシンボルとして活用する。</li> <li>○ シンボルマークを活用したPRグッズ等の製作 ボランティアの方に活動の際に着てもらう活性化ジャンパーやキャラクター入りのティッシュを作成し、粟生線の利用促進を訴える。</li> <li>○ 沿線の魅力を発信するラッピング列車の運行（参照 方針3-⑥） 地域の愛着創出や観光振興、個性を発揮するラッピング電車を運行し、イベント列車等に活用する。</li> <li>○ 沿線の特色を活かしたイベント列車の運行（参照 方針3-⑥） お座敷列車や特産品を販売する等の目玉となるイベント列車を企画し運行する。</li> </ul>
		 <p>小野高校作成</p>
		 <p>キャラクターグッズの例 (資料：高知ゴトゴト Web!より)</p>
		 <p>貴志川線のラッピング電車 (資料：和歌山電鉄HPより)</p>
	<b>事業期間</b>	平成22年度、23年度、24年度
	<b>実行主体</b>	神戸市、三木市、小野市、神戸電鉄

<b>施策</b>		<b>③ 沿線自治体職員等による公共交通利用率先行動</b>	
<b>事業内容</b>		行政等の職員が率先して、粟生線等の公共交通機関を利用するリーダーとなってアクションを起こす。	
<b>事業計画</b>	<b>具体的な取り組み</b>	<p><b>実施する事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県・市職員等による通勤・出張時等の公共交通率先利用の推進 市民の粟生線の利用促進を図るためには、まず行政側からその姿勢を示すことが求められるため、職員の粟生線利用を促す。 例) ・通勤時の粟生線利用への誘導 ・職員向けTFPの実施 (TFPとは“トラベル・フィードバック・プログラム”の略で、習慣的になっている過度なマイカーの利用を見直し、コミュニケーションを通じながら、「かしこいクルマの使い方」を考え、実践していくプログラム)</li> </ul>	
		<b>事業期間</b>	平成22年度、23年度、24年度
		<b>実行主体</b>	神戸市、三木市、小野市、兵庫県、国

方針5 安全で安定した鉄道輸送サービスの確保

計画の目標：安全で安定した鉄道輸送サービスの確保

<b>事業</b>		<b>① 国庫補助制度も活用した鉄道施設の効果的な更新</b>						
<b>事業内容</b>		国庫補助制度も活用しながら、鉄道施設の効果的な更新を図る。						
<b>事業計画</b>	<b>具体的な取り組み</b>	<p><b>実施する事業</b></p> <p>○ 施設の更新・改良による安全性の向上（コンクリート枕木化、橋梁耐震化等）</p> <p>補助制度を最大限活用し、コンクリート枕木化や橋梁耐震化、駅施設改善等のハード整備を進めるとともに、イベント列車等のソフト対策を展開する。</p> <div style="text-align: center;"> <p><b>地域鉄道に対する包括的な支援</b></p> <p>22年度予算額 79億円の枠内</p> <table border="1"> <tr> <td>活性化・利便性向上</td> <td>安全対策</td> </tr> <tr> <td>地域公共交通総合連携計画</td> <td>安全輸送設備整備計画</td> </tr> <tr> <td>鉄道事業再構築事業</td> <td>総合安全対策計画</td> </tr> </table> <p>地域公共交通活性化・再生総合事業費補助金 H22予算額:40億円の枠内(総合政策局計上)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>補助率:1/2、1/3(政令市)</li> <li>法定協議会を対象</li> <li>総合連携計画に基づく地域の創意工夫を活かした取組への支援</li> </ul> <p>＜鉄道関係の補助対象＞ 計画策定調査費、イベント列車運行、ICカードシステム、増便等実証運行、駅・停留施設、パークアンドライド、情報提供、ボランティア活動経費など</p> <p>LRTシステム整備費補助金 H22予算額:2億円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>補助率:1/4</li> <li>鉄軌道事業者(公営を含む)を対象</li> <li>LRT整備計画に基づく(既設整備への支援)</li> <li>＜補助対象＞ LRV、制振レール、停留施設、車庫 など</li> </ul> <p>幹線鉄道等活性化事業費補助(コミュニティレール) H22予算額:8億円の枠内</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>補助率:1/3・法定協議会又は第三セクターを対象</li> <li>総合連携計画に基づく鉄軌道利用者の利便性向上を図るための施設整備への支援</li> </ul> <p>＜補助対象＞ 駅、路線の再配置 交電所 相互直通化施設 など</p> <p>駅、路線の再配置 行き違い設備 ホーム</p> <p>新駅設置 行き違い設備 相互直通化</p> <p>鉄道軌道輸送対策事業費補助金 H22予算額:20億円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>補助率:1/3</li> <li>経営環境が厳しい中小鉄軌道事業者を対象</li> <li>安全な輸送を継続するために必要な設備整備への支援</li> <li>※鉄道事業再構築事業については、再構築実施計画の大臣認定が必要</li> </ul> <p>＜補助対象＞ レール、枕木 落石等防止設備 ATS 車庫 列車無線設備、防風設備 など</p> <p>軌道改良 車両 ATS</p> <p>鉄道施設総合安全対策事業費補助 H22予算額:8億円の枠内</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>補助率:1/3</li> <li>駅止せり等を対象</li> <li>大規模なトンネル、橋りょう等の改善支援</li> </ul> </div> <p>資料：国土交通省 HP より</p>	活性化・利便性向上	安全対策	地域公共交通総合連携計画	安全輸送設備整備計画	鉄道事業再構築事業	総合安全対策計画
	活性化・利便性向上	安全対策						
	地域公共交通総合連携計画	安全輸送設備整備計画						
鉄道事業再構築事業	総合安全対策計画							
<b>事業期間</b>	平成22年度、23年度、24年度							
<b>実行主体</b>	神戸電鉄							

<b>事業</b>		<b>② 利用者動向・ニーズに応じた輸送サービスへの改善</b>
<b>事業内容</b>		的確に利用者ニーズを把握し、これに応じた輸送サービスへの改善を図るとともに、利用者に事業を評価してもらうしくみづくりを行うことでPDCAサイクルに従った事業展開を図る。
<b>事業計画</b>	<b>具体的な取り組み</b>	<p><b>実施する事業</b></p> <p>○ 利用者ニーズを把握するための利用者モニター制度を実施</p> <p>粟生線の事業に対し評価していただくモニターを募集し、モニターの方には、活性化策への参加や事業評価を実施していただく。また、モニターの方にはモニター証明書を発行する。</p>
	<b>事業期間</b>	平成22年度、23年度、24年度
	<b>実行主体</b>	神戸市、三木市、小野市、神戸電鉄

方針6 沿線住民との協働

計画の目標：沿線住民と一体となった協力体制の構築

事業	① 沿線地域との協力体制の構築																				
事業内容	沿線地域住民の意見や要望等の把握に努め、栗生線の活性化や利用促進の協力体制を構築する。																				
事業計画 具体的な取り組み	<p><b>実施する事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域住民による駅の美化活動やPR等、鉄道愛護意識の醸成 地域の身近な駅として地域住民等が清掃活動、花いっぱい運動を実施する。サポーターやボランティアによる駅の美化運動を行い、来たくなる駅にすることで駅の活性化を図る。 また、自治会の会議やイベント開催時等に神鉄を積極的に活用する。</li> <li>○ ご利用・ご乗車マナーの向上啓発（参照 方針1-④） 利用者参加による駅をご利用やご乗車の際のマナー向上を啓発する活動を拡充する。（取り組み事例）「グッドマナーキャンペーン」 また、沿線高校生よりマナー啓発ポスター、放送を募集し、優秀作品を駅・社内に掲示。放送は主要駅で放送する。</li> </ul> <p><b>検討する事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 神戸電鉄の地域との交流を促進する社会貢献活動の検討 地域との交流を促進するための社会貢献活動を検討する。</li> <li>○ 神鉄サポータークラブ（仮称）の設置の検討 栗生線の活性化に協力いただけるサポーターを公募する。サポーターの方には、イベントの参加などの呼びかけを実施する。</li> </ul> <p>利用者の協力意向はイベント等で高いが、駅の美化活動や活動チームへの参加の意向もある</p>																				
	<p>設問6-（2） 栗生線活性化のために、協力してもよいと思うこと</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 栗生線を利用するイベントへの参加</td> <td>177</td> </tr> <tr> <td>② 駅でのイベント(朝市等)への参加</td> <td>149</td> </tr> <tr> <td>③ 職場や学校、家族などへの利用呼びかけ</td> <td>140</td> </tr> <tr> <td>④ 栗生線活性化方策のアイデア提供</td> <td>112</td> </tr> <tr> <td>⑤ 栗生線を活用した生活行動への転換</td> <td>104</td> </tr> <tr> <td>⑥ 栗生線維持継続のための募金</td> <td>101</td> </tr> <tr> <td>⑦ 沿線情報の提供</td> <td>83</td> </tr> <tr> <td>⑧ 駅の美化活動(清掃、装飾等)への参加</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>⑨ 栗生線活性化のための活動チームへの参加</td> <td>22</td> </tr> </tbody> </table> <p>n=967 複数回答</p>	項目	回数	① 栗生線を利用するイベントへの参加	177	② 駅でのイベント(朝市等)への参加	149	③ 職場や学校、家族などへの利用呼びかけ	140	④ 栗生線活性化方策のアイデア提供	112	⑤ 栗生線を活用した生活行動への転換	104	⑥ 栗生線維持継続のための募金	101	⑦ 沿線情報の提供	83	⑧ 駅の美化活動(清掃、装飾等)への参加	63	⑨ 栗生線活性化のための活動チームへの参加	22
	項目	回数																			
① 栗生線を利用するイベントへの参加	177																				
② 駅でのイベント(朝市等)への参加	149																				
③ 職場や学校、家族などへの利用呼びかけ	140																				
④ 栗生線活性化方策のアイデア提供	112																				
⑤ 栗生線を活用した生活行動への転換	104																				
⑥ 栗生線維持継続のための募金	101																				
⑦ 沿線情報の提供	83																				
⑧ 駅の美化活動(清掃、装飾等)への参加	63																				
⑨ 栗生線活性化のための活動チームへの参加	22																				
事業期間	平成22年度、23年度、24年度																				
実行主体	神戸市、三木市、小野市、神戸電鉄																				

<b>事業</b>		② 無人駅のボランティア等による有人化	
<b>事業内容</b>		無人駅におけるボランティア活動での案内や清掃等による有人化により、地域の財産となる駅にしていく。	
<b>事業計画</b>	<b>具体的な取り組み</b>	<b>実施する事業</b> ○ ボランティア駅長等による無人駅の活性化 住民による駅の美化活動等の責任者としてボランティア駅長を任命する。それらにより人が集まる駅にすることで無人駅の活性化を図る。   北条鉄道のボランティア駅長 ○ 駅の空きスペースを活かした活性化策の展開（方針2-④を含む） 駅の空きスペースを有効活用し、駅の賑わいを創出する施設等の設置を行う。 例）・特設物産品販売屋台の出店 ・フレンドショップ ・商業施設誘致 ・ボランティアスペース ・野菜売り場 など   駅のにぎわい創出の例	
		<b>事業期間</b>	平成22年度、23年度、24年度
		<b>実行主体</b>	神戸市、三木市、小野市、神戸電鉄

<b>事業</b>		③ 企画きっぷの販売や情報発信を行うフレンドショップ（販売拠点）の設置	
<b>事業内容</b>		地域の協力により、企画きっぷの販売や情報発信を行うフレンドショップ（販売拠点）を設置する。	
<b>事業計画</b>	<b>具体的な取り組み</b>	<b>実施する事業</b> ○ PR協力等によりフレンドショップを拡充（参照 方針1-①） 鉄道駅の周辺にある商業施設に協力していただき、神戸電鉄のフレンドショップ（販売拠点）として以下の活動をしてもらう。 ・ 企画きっぷ、割引きっぷの販売 ・ 広告の設置 ・ アンケートの設置 等 	
		<b>事業期間</b>	平成22年度、23年度、24年度
		<b>実行主体</b>	神戸市、三木市、小野市、神戸電鉄

#### 4-4 事業の実行主体とスケジュール

前節で整理した具体的な取り組みについては平成 22 年度以降に検討・実施していくこととなるが、計画対象期間の平成 22 年度、23 年度、24 年度の 3 カ年で重点的に実施していく取り組みを輸送人員増加の効果等を考慮（事業間の重複も考慮）して選定する必要がある。

増員効果があると推定されるもの、粟生線の活性化取り組みの啓発につながるものの中から重点的に取り組む事業を選定した。表 4-1 および 4-2 に重点的に取り組む事業の選定を、表 4-3 に地域公共交通活性化・再生総合事業として実施する具体的な取り組みを選定・集約し実行主体を整理して示す。

表 4-1 重点的に取り組む事業の選定（1）

c	計画の目標	事業	具体的な取り組み	事業の対象		事業の区分			活性化のため重点的に取り組む事業	
				沿線内	沿線外	活・総	輸対	その他		
方針1	他の交通機関に対する競争力の向上	輸送サービスの改善	① 企画きっぷの充実と効果的なPR活動	○沿線内の施設と連携した企画きっぷ等の充実(方針3-④を含む)		○	○			○
				○自治体広報誌や新聞折り込み等を活用し、沿線内外に効果的にPR(方針1-②を含む)	○	○	○			
				○フレンドショップ等の販売拠点の充実(方針6-③を含む)	○		○			
				・沿線のイベントと連携した企画きっぷの検討(方針3-③に対応)	-	-	-	-	-	
			② 割引制度等の充実	○自治体広報誌や新聞折り込み等を活用し、沿線内外に効果的にPR(方針1-①に対応)	-	-	-	-	-	
			・新たな割引制度の検討	○		○				
③ ダイヤの改善・運行本数見直し等の運行改善	・昼間優等列車運行による速達性向上の検討	○	○				○			
	・短編成化等、輸送実態に応じた適正な運行形態の検討	○					○			
④ 接客サービスの向上	○利用満足度を高めるための社員教育の実施	○	○				○			
	○ご利用・ご乗車マナーの向上啓発(方針6-①を含む)	○		○						
⑤ 利用しやすい駅・快適な駅づくり	・快適な車内環境の創出(音楽等)の検討	○	○	○						
	○夜間照明の増設等駅施設の改善	○		○						
			・車両における座席や空調の改良等、快適性向上の検討	○	○	○				
方針2	駅勢圏(駅の集客範囲)の拡大	駅アクセスの改善と駅の活性化	① 駐停車エリア、駐車場、駐輪場の整備および駅情報・運行情報等の発信	○キス&ライド(送迎)用駐停車スペースの確保	○		○			○
				○パーク&ライド用駅前駐車場の整備	○		○			
				○駐輪施設の改善・整備	○		○			
				○到着時刻の表示された神鉄運行時刻表の作成	○		○			
			○駐車場・駐輪場等の駅周辺施設案内板の整備	○	○	○				
			○インターネット等を使用した乗り継ぎ情報等提供サービス		○	○				
② バスとの効果的な接続	○駅でのバス停案内および時刻表の掲示	○	○	○						
	・電車発着時刻と整合を図るバスのダイヤの検討	○	○	○						
			・駅へのアクセスバスの検討	○	○	○				
③ 駅前の特色あるイベントの開催	○既存の駅前イベントのPR(方針3-③に対応)	-	-	-	-	-				
	・駅前イベントの新たな企画の検討	○	○				○			
④ 駅の空きスペースの活用	○駅の空きスペースを活かした活性化策の展開(観光案内所等)(方針6-②に対応)	-	-	-	-	-				
	○携帯時刻表の作成・配布によるPR(方針4-①に対応)	-	-	-	-	-				
方針3	定期利用と交流人口の拡大	定期利用者の増加と新規利用者の開拓	① 沿線立地企業等への粟生線通勤・通学利用のPR	○駅とのアクセス交通の支援(方針4-①に対応)	-	-	-	-		
				・各種定期券設定の検討	○	○			○	
				○小中学校の校外学習等の企画・実施サポート	○	○	○			
② 小中学校等への粟生線利用の促進と支援	○小学生、園児を対象とした乗り方教室、体験乗車等の実施(方針4-①を含む)	○		○				○		
	○ギャラリートレイン等の拡充	○	○	○						

○：実施する事業  
・：検討する事業

活・総：地域公共交通活性化・再生総合事業  
輸対：鉄道軌道輸送対策事業

表 4-2 重点的に取り組む事業の選定 (2)

方針	計画の目標	事業	具体的な取り組み	事業の対象		事業の区分			活性化のため重点的に取り組む事業	
				沿線内	沿線外	活・総	輸対	その他		
方針3	定期利用と交流人口の拡大	定期利用者の増加と新規利用者の開拓	③ 地域間の各イベントとの連携強化	○駅からイベント開催地への誘導		○	○			○
				○既存の駅前イベントのPR(方針2-③を含む)		○	○			
				○神鉄ハイキングのPR拡大		○	○			
				○加古川線等利用促進・沿線地域活性化協議会イベントとの共催		○	○			
				・スポーツイベントとの連携		○	○			
				・粟生線を利用してイベントに参加した方への特典付与の検討		○	○			
			・沿線のイベントと連携した企画きつぷの検討(方針1-①を含む)		○	○				
			④ 沿線地域における観光資源の魅力的な活用	○観光マップの駅等での配布		○	○			○
				○認知されていない観光資源の活用		○	○			
			⑤ 魅力的な車窓からの景観づくり	○沿線内の施設と連携した企画きつぷ等の充実(方針1-①で対応)	-	-	-	-	-	
				○沿線に植樹・植栽等を実施	○	○	○			○
			⑥ 鉄道に関するイベントの開催	○車窓からのフォトコンテストの実施	○	○	○			
				○神鉄トレインフェスティバルの拡大実施	○	○	○			
				○ミステリートレインの拡大実施	○	○	○			
○沿線の魅力を発信するラッピング列車の運行(方針4-②を含む)		○		○						
⑦ ホームページ等の広報により粟生線の魅力を発信	○沿線の特色を生かしたイベント列車の運行(お座敷列車等、目玉となる列車)(方針4-②を含む)	○	○	○			○			
	・サイクルトレインの検討	○	○	○						
方針4	公共交通利用行動の喚起	公共交通利用意識の向上	① 企業や学校、転入者等に対するモビリティ・マネジメント等の実施	○おでかけガイドの充実		○			○	
				○神戸電鉄粟生線活性化協議会ホームページの沿線情報、イベント情報、観光資源情報等の充実		○	○			
				○沿線企業等に対するエコ通勤への協力要請(方針3-①を含む)	○		○			
				○小学生、園児を対象とした乗り方教室、体験乗車等の実施(方針3-②で対応)	-	-	-	-		-
				○転入者に対する公共交通案内マップの配布	○		○			
			② 粟生線キャラクター等による活性化のPR	○携帯時刻表の作成・配布によるPR(方針3-①を含む)	○		○			○
				○公共交通の利用動機付けパンフレットの作成と配布(ダイエットや地球環境などインセンティブ付加)	○		○			
				○粟生線キャラクターを活用したPR	○	○	○			
			③ 沿線自治体職員等による公共交通利用率先行動	○シンボルマークを活用したPRグッズ等の製作	○	○	○			○
				○沿線の魅力を発信するラッピング列車の運行(方針3-⑥で対応)	-	-	-	-	-	
④ 沿線の特色を生かしたイベント列車の運行(お座敷列車等、目玉となる列車)(方針3-⑥で対応)	○沿線の特色を生かしたイベント列車の運行(お座敷列車等、目玉となる列車)(方針3-⑥で対応)	-	-	-	-	-	○			
	○県・市職員等による通勤・出張時の公共交通率先利用の推進	○		○						
方針5	安全で安定した鉄道輸送サービスの確保	安全で安定した鉄道輸送サービスの確保	① 国庫補助制度も活用した鉄道施設の効果的な更新	○施設の更新・改良による安全性の向上(コンクリート枕木化、橋梁耐震化等)			○			
			② 利用者動向・ニーズに応じた輸送サービスへの改善	○利用者ニーズを把握するための利用者モニター制度を実施	○			○		
方針6	沿線住民との協働	① 沿線地域との協力体制の構築	○地域住民による駅の美化活動やPR等、鉄道愛護意識の醸成	○		○			○	
			○ご利用・ご乗車マナーの向上啓発(方針1-④で対応)	-	-	-	-	-		
			・神戸電鉄の地域との交流を促進する社会貢献活動の検討	○		○				
		② 無人駅のボランティア等による有人化	・神鉄サポータークラブ(仮称)の設置の検討	○	○				○	
			○ボランティア駅長等による無人駅の活性化	○		○				
		③ 企画きつぷの販売や情報発信を行うフレンドショップ(販売拠点)の設置	○駅の空きスペースを活かした活性化策の展開(方針2-④を含む)	○	○				○	
○PR協力等によりフレンドショップを拡充(方針1-①で対応)	-		-	-	-	-				

○：実施する事業  
 ・：検討する事業

活・総：地域公共交通活性化・再生総合事業  
 輸対：鉄道軌道輸送対策事業

表 4-3 地域公共交通活性化再生総合事業で取り組む事業と実行主体

事業	具体的な取り組み	神戸電鉄	神戸市	三木市	小野市	兵庫県	沿線住民等
◎企画きっぷ、割引制度等の充実と効果的なPR活動 (方針1-①②)	○自治体広報誌や新聞折り込み等活用の効果的なPR ○フレンドショップ等販売拠点の充実 ○沿線内の施設と連携した企画きっぷ等の充実 ・沿線のイベントと連携した企画きっぷの検討 ・新たな割引制度の検討	◎	◎	◎	◎	○	○
接客サービスの向上および利用しやすい駅・快適な駅づくり (方針1-④⑤)	○夜間照明の増設等施設の改善 ・快適な車内環境の創出(音楽等)の検討 ○ご利用・ご乗車マナーの向上啓発 ○利用満足度を高めるための社員教育の実施	◎					
◎駐停車エリア、駐車場、駐輪場の整備および駅情報・運行情報等の発信 (方針2-①)	○P&R用駅前駐車場の整備 ○K&R用駐車スペースの確保 ○駐輪施設の改善・整備 ○到着時刻表示を含む神鉄運行時刻表の作成 ○駐車場や駐輪場等の駅周辺施設案内板の整備 ○インターネット等を使用した乗り継ぎ情報等提供サービス	◎	◎	◎	◎	○	
バスとの効果的な接続 (方針2-②)	○駅でのバス停案内・時刻表の掲示 ・電車の発着時刻に整合したバスダイヤの検討	◎	◎	◎	◎	○	
◎小中学校等への粟生線利用の促進と支援 (方針3-②)	○小中学校の校外学習等の企画・実施サポート ○小学生や園児への乗り方教室、体験乗車等の実施 ○ギャラリートレイン等の拡充	◎	◎	◎	◎	○	
◎地域間の各イベントとの連携強化 (方針3-③)	○駅からイベント開催地への誘導 ○既存の駅前イベントのPR ○神鉄ハイキングのPR拡大 ○加古川線等利用促進・沿線地域活性化協議会イベントとの共催 ・スポーツイベントとの連携 ・粟生線利用でイベント参加した方への特典付与の検討	◎	◎	◎	◎	○	○
◎沿線地域における観光資源の魅力的な活用 (方針3-④)	○沿線内の施設と連携した企画きっぷ等の充実 ○観光マップの駅等での配布	◎	◎	◎	◎	○	
魅力的な車窓からの景観づくり(方針3-⑤)	○沿線に植樹・植栽等を実施 ○車窓からのフォトコンテストの実施	◎	◎	◎	◎	○	
◎鉄道に関するイベントの開催 (方針3-⑥)	○沿線の特徴を活かした魅力あるラッピング列車、イベント列車の運行(お座敷列車等、目玉となる列車) ○神鉄トレインフェスティバル、ミステリートレインの拡大実施	◎					
ホームページ等の広報により粟生線の魅力を発信 (方針3-⑦)	○おでかけガイドの充実 ○神戸電鉄粟生線活性化協議会ホームページの沿線情報、イベント情報、観光資源情報等の充実	◎	◎	◎	◎	○	
◎企業や学校、転入者等に対するモビリティ・マネジメント等の実施 (方針4-①)	○沿線企業等に対するエコ通勤への協力要請 ○転入者への公共交通利用案内マップの配布 ○携帯時刻表の作成・配布によるPR ○公共交通の利用動機付けパンフレットの作成と配布	◎	◎	◎	◎	○	
◎沿線自治体職員等による公共交通利用率先行動 (方針4-③)	○県、市職員等による通勤・出張時の公共交通率先利用の推進		◎	◎	◎	◎	
◎沿線住民と一体となった粟生線の活性化とPR (方針4-②、6-①②)	○ボランティア駅長等による無人駅の活性化 ○地域住民による駅の美化活動やPR等、鉄道愛護意識の醸成 ○粟生線キャラクターやシンボルマークを活用したPR ・神鉄サポートクラブの設置の検討	◎	◎	◎	◎	○	◎
◎：重点的に取り組むもの	○：実施する取り組み ・：検討する取り組み	◎実行主体 ○：関係者					

表 4-3 に整理した 13 事業について事業化のスケジュールを示す

表 4-4 事業化のスケジュール（平成 22 年度～平成 24 年度）

事業	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
企画きっぷ、割引制度等の充実と効果的なPR活動	検討・実施	検討・実施	実施
接客サービスの向上および利用しやすい駅・快適な駅づくり	検討・実施	実施	実施
駐停車エリア、駐車場、駐輪場の整備および駅情報・運行情報等の発信	検討・設計・実施	設計・実施	設計・実施
バスとの効果的な接続	検討・実施	実施	実施
小中学校等への粟生線利用の促進と支援	検討・実施	検討・実施	実施
地域間の各イベントとの連携強化	検討・実施	実施	実施
沿線地域における観光資源の魅力的な活用	検討・実施	検討・実施	実施
魅力的な車窓からの景観づくり	検討・実施	検討・実施	検討・実施
鉄道に関するイベントの開催	検討・実施	検討・実施	実施
ホームページ等の広報により粟生線の魅力を発信	検討・実施	実施	実施
企業や学校、転入者等に対するモビリティ・マネジメント等の実施	検討・実施	協力依頼・実施	実施
沿線自治体職員等による公共交通利用率先行動	検討・協力依頼	実施	実施
沿線住民と一体となった粟生線の活性化とPR	検討・実施	実施	実施

#### 4-5 推進体制

本計画を確実に推進して実現していくためには、粟生線の沿線住民等、交通事業者、行政が各々の役割を分担しながら、その役割を果たしていくことが重要であり、事業主体は沿線地域の交通課題および地域づくりの目標を相互に理解・共有し、緊密な連携を図りながら、より利用しやすい公共交通利用を促進する環境づくりを進めていくこととする。

本計画の目標を達成するためには、選定した事業を着実に実施するとともに適切な時期に事業の計画・検討・見直しを行っていくことが重要である。平成 22 年度以降にも随時協議会を開催し、PDCA サイクルに従い検証を行いながら各事業を推進していくことが必要である。

表 4-1 関係主体の役割

主体	構成者	役割
沿線住民等	住民、企業、従業員、学校など	粟生線をはじめとした公共交通の直接の利用者として、本計画の具体化に向けた積極的な参画。
交通事業者	神戸電鉄	交通サービスの提供者として、沿線住民等および行政との連携を図り、本計画の確実な推進に向けた積極的な事業の展開。
行政	神戸市、三木市、小野市、兵庫県、国	行政として沿線住民等および交通事業者と一体になって実施に取り組む。

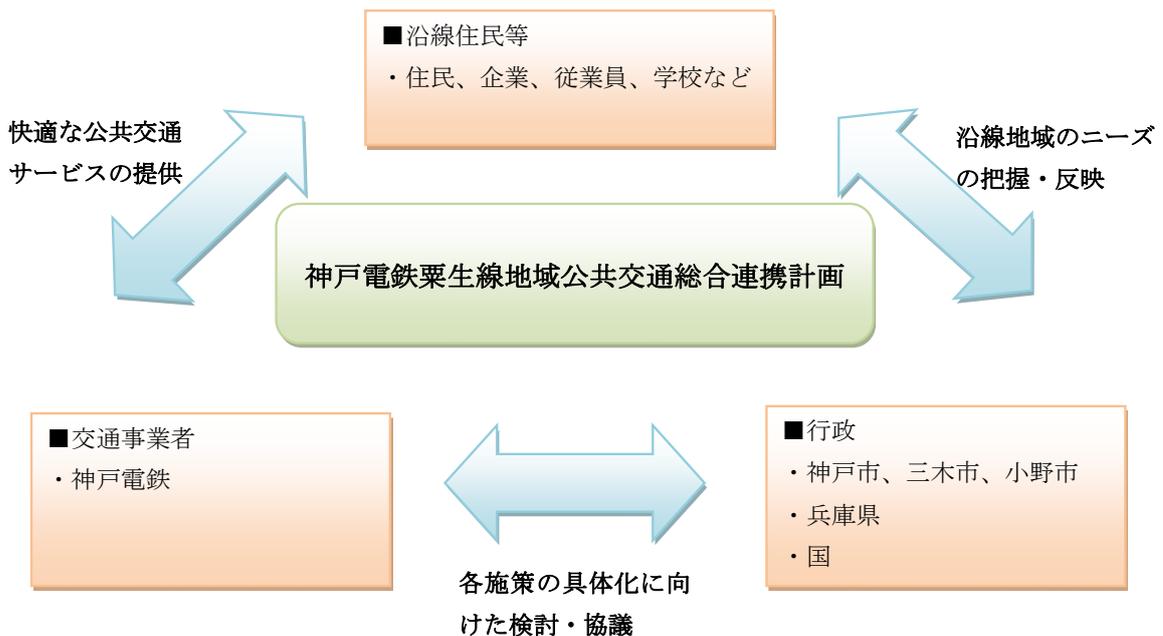


図 4-2 推進体制